

令和6年度 岐阜県在宅重度障がい・医療的ケア児者 実態調査の結果について (概要版)

岐阜県 健康福祉部
医療福祉連携推進課
(障がい児者医療推進係)

○調査の概要

1.調査の目的

- ・県内で在宅生活を送る重症心身障がい児者・医療的ケア児者の生活実態を把握
- ・必要とされる医療・福祉サービス等について介護者の意識・ニーズを把握
- ・今後の施策の基礎資料として活用

2.調査方法

- ・調査期間：令和6年9月1日～令和6年10月31日 ※回答は令和6年9月1日時点の状況
- ・調査方法：調査票を郵送又は配布し、郵送又はWEBにて回収。
 ※統計法に基づく届出統計調査、岐阜県保健所等倫理審査委員会の審査・承認を受けて実施。
- ・個人情報：プライバシー保護の観点から、調査票は整理番号で管理し住所氏名などの記載を
 の管理 求めないで実施。

3.調査対象

市町村等関係機関が把握する以下の（１）～（４）の在宅の重症心身障がい児者、医療的ケア児者等と推定される**1,885人**を対象とした。

単位：人

区 分		状 態 像（推定）	対象者数
（１） 県内の市町村が保有する情報をもとに該当する方			1,357
①	県内の65歳未満で、身体障害者手帳 1 級又は 2 級（肢体不自由のうち体幹・下肢・移動機能のいずれか等級）と、療育手帳 A、A 1 又は A 2 の両方を持つ方	重症心身障がい児	331
		重症心身障がい者	567
②	保育所等、小・中学校、市立特別支援学校に通園・通学する県内の医療的ケアが必要な方【保育所等】	医療的ケア児	8
	保育所等、小・中学校、市立特別支援学校に通園・通学する県内の医療的ケアが必要な方【小中学校】		51
③	7 歳未満で、岐阜市保健所又は保健センターが保有する県内の医療的ケアが必要な方		64
④	7 歳未満又は19歳以上65歳未満で、障害福祉サービス等（児童発達支援事業、日中一時支援事業を含む）を利用する県内の医療的ケアが必要な方	医療的ケア児	23
		医療的ケア者	182
⑤	県内の 7 歳未満で、身体障害者手帳（1 ～ 6 級）を持つ方	-	131
（２） 岐阜県教育委員会の高等学校、特別支援学校に通学する県内の医療的ケアが必要な方		医療的ケア児	53
（３）	国立岐大附属小中学校、私立の幼稚園、小・中学校、高等学校に通園・通学する県内の医療的ケアが必要な方		8
（４） 7 歳未満または19歳以上20歳未満で小児慢性特定疾病受給者証を持つ方		-	467
計			1,885

4.調査内容

(1) 本人について

- ①本人の性別・生年月・年齢・居住市町村
- ②生活拠点（在宅・入所・グループホーム・その他）
- ③手帳の取得状況と障がいの程度等
- ④医療的ケアの状況等
- ⑤出生時のNICUの入院等について
- ⑥就園・就学状況

(2) 主たる介護者について

- ⑦主たる介護者の続柄と年齢
- ⑧主たる介護者の健康状態と睡眠状態
- ⑨交代できる介護者の有無
- ⑩医療的ケアを行っている介護者
- ⑪介護するうえで負担と感じていること
- ⑫日頃の悩み等の相談先
- ⑬日頃不安・不満に感じていること

(3) 医療等サービスの利用状況

- ⑭医療サービス（訪問診療、通院、入院、リハビリ、
歯科、訪問薬剤管理指導、病児保育）の利用状況
- ⑮今後利用したい医療サービス

(4) 福祉サービスの利用状況

- ⑯福祉サービス（訪問系サービス、日中生活サービス、
レスパイトサービス、障害児通所支援事業、
その他）の利用周期と利用量の充実度
- ⑰今後利用したい福祉サービス

(5) 18歳以上の方の今後の生活場所について

- ⑱グループホームや入所施設への入居・入所希望の
有無、その理由と入居・入所時期

(6) サポートツールの活用について

- ⑲サポートツールの利用状況

(7) 災害時への備えについて

- ⑳「避難行動要支援者名簿」の掲載の把握、提供への
同意の有無、「個別避難計画」の有無
- ㉑電源を必要とする医療機器を使用している方の非常
用電源確保の有無等

5.回収結果

調査票 配布者数 (A)	回収数 (B)	うち、 有効回答数 (県内在宅者) (C)	うち、 調査対象外 (施設入所等) (D)	回収率 (B/A)	有効 回答率 (C/A)
1,885人	1,051人	917人	134人	55.8%	48.6%

本調査では、県内で在宅生活をしている調査対象児者917人を、本人の状況に関する回答から、「重症心身障がい児者（大島分類）」又は「医療的ケア児者」のいずれかに該当している646人を集計分析対象とした。

■重症心身障がい児者（大島分類）

※重症心身障がい児者（大島分類）に医療的ケアを要する方を含む

身体障害者手帳1級又は2級（肢体不自由の体幹、下肢又は移動機能のいずれかの等級）と療育手帳がA、A1又はA2の両方を持つ重症心身障がい児者の有効回答者（495人）のうち、大島分類（※1）に基づき、身体状況が「寝たきり」「座位可能」「ずり這い」に該当する方…365人

（※1）大島分類…元東京都立府中療育センター院長大島一良氏が考案した重症心身障がいの判別基準。身体状況を「寝たきり」「座れる」「歩行障害」「歩ける」「走れる」の5区分に分けた際に「寝たきり」「座れる」に該当し、かつIQが0～35までの者を重症心身障がい児者、身体状況が「歩行障害」に該当し、かつIQが36～50までの者を周辺児者と位置づけた。

■医療的ケア児者

※医療的ケア児者に重症心身障がい該当者を含む

医療的ケア判定スコア（※2）が3点以上の方…527人

（※2）「障害福祉サービス等利用における医療的ケア判定スコア（令和3年3月）」を参照し、医療的ケアの項目ごとの「基本スコア」と「見守りスコア」の点数を合算したスコアを医療的ケア判定スコアとした。

6.集計分析対象の状態像の内訳

単位：人

区分 (* 1)		集計分析対象者（重症心身障がい児者（大島分類）・医療的ケア児者646人）								
		重症心身障がい児者 （大島分類）		医療的 ケア児者 （重症心身 障がいに 非該当）	重症心身障がい児者				医療的ケ ア児者	
					（大島分類）					
					寝たきり	座位可能	ずり這い			
		あり	なし		A+B		A+C			
		A	B		C					
		(Ⅱ-1)				(Ⅱ-2)				(Ⅱ-3)
重症心身障がい・ 医療的ケア児者	児	337	117	46	174	163	86	56	21	291
	者	309	129	73	107	202	104	72	26	236
計		646	246	119	281	365	190	128	47	527

※1：児者区分については、調査回答の時点に関わらず、令和6年4月1日時点で18歳未満の方を『児』、18歳以上の方を『者』とした。

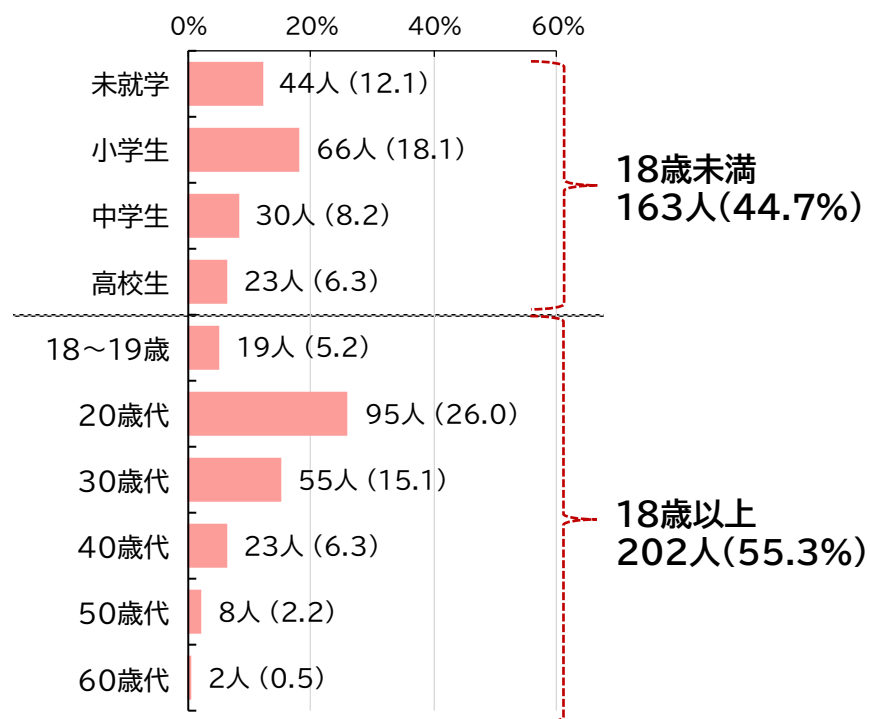
(1) 本人の状況

1-1. 本人の年齢

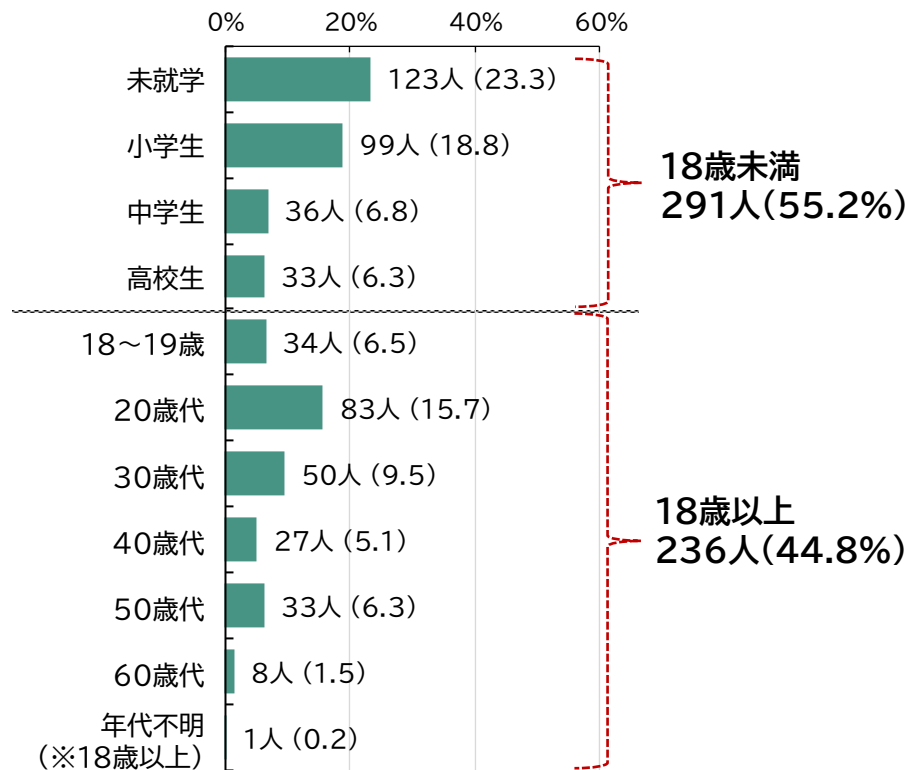
○岐阜県内で在宅生活している重症心身障がい児者は、20歳代が最も多い。また、18歳未満は163人（44.7%）、18歳以上は202人（55.3%）であった。

○岐阜県内で在宅生活している医療的ケア児者は、未就学が最も多い。また、18歳未満は291人（55.2%）、18歳以上は236人（44.8%）であった。

■ 重症心身障がい児者（回答数= 365人）



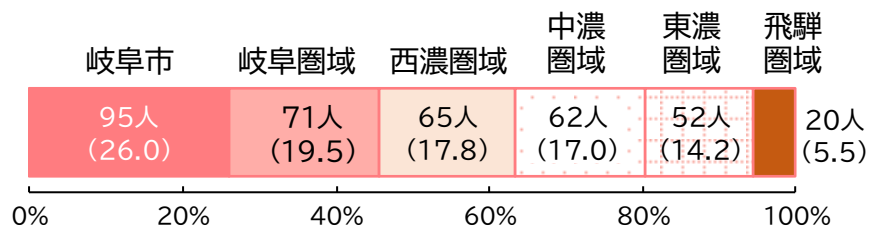
■ 医療的ケア児者（回答数= 527人）



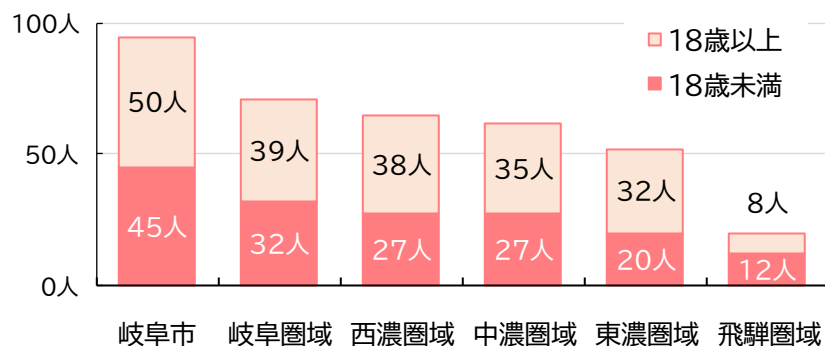
1-2.居住圏域

○重症心身障がい児者・医療的ケア児者とも、岐阜市が最も多く、岐阜圏域と合わせると全体の4割台半ばを占めている。

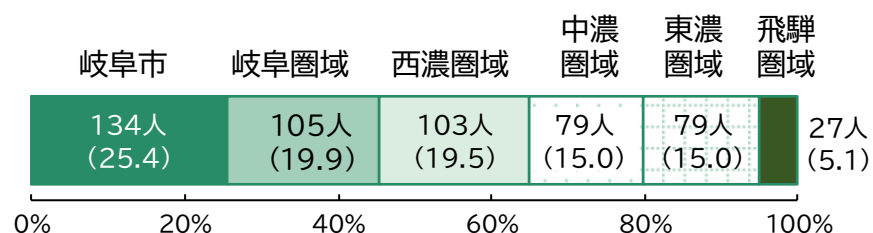
■重症心身障がい児者（回答数= 365人）



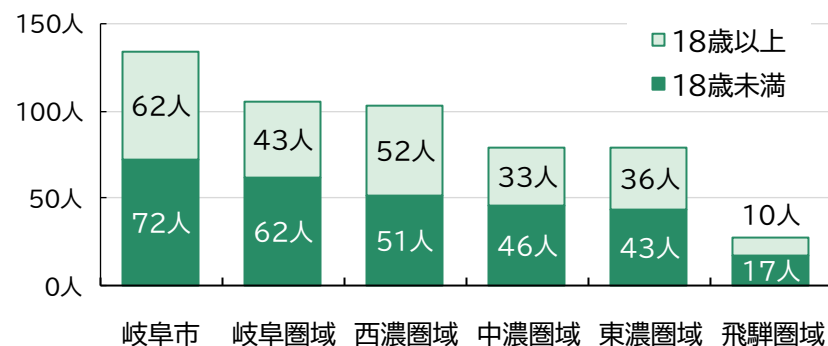
<圏域別児者人数の内訳>



■医療的ケア児者（回答数= 527人）



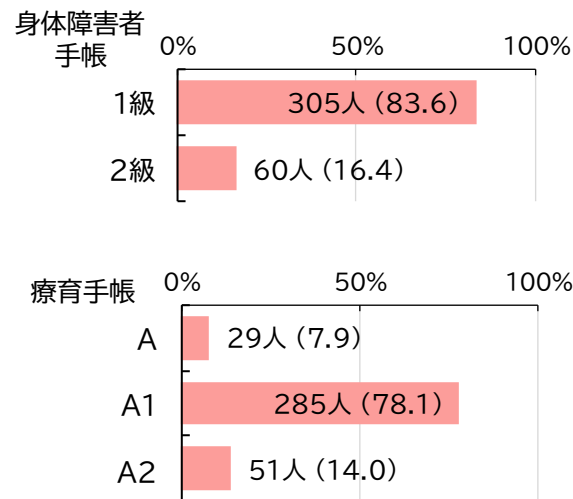
<圏域別児者人数の内訳>



1-3.身体障害者手帳、療育手帳の取得状況

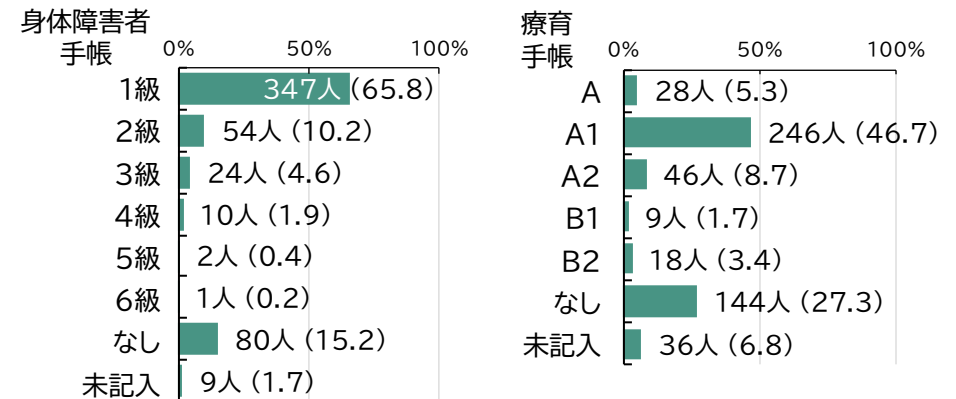
- 重症心身障がい児者では、身体障害者手帳 1 級取得者が305人（83.6%）、療育手帳のA 1 取得者が285人（78.1%）、身体障害者手帳 1 級と療育手帳A 1 の両方取得している方は247人で、全体の67.7%であった。
- 医療的ケア児者では、身体障害者手帳 1 級取得者が347人（65.8%）、療育手帳のA 1 取得者が246人（46.7%）、身体障害者手帳 1 級と療育手帳A 1 の両方取得している方は213人で、全体の40.4%であった。

■重症心身障がい児者（回答数= 365人）



		療育手帳			計
		A	A1	A2	
身体障害者手帳	1級	25	247	33	305
	2級	4	38	18	60
計		29	285	51	365

■医療的ケア児者（回答数= 527人）

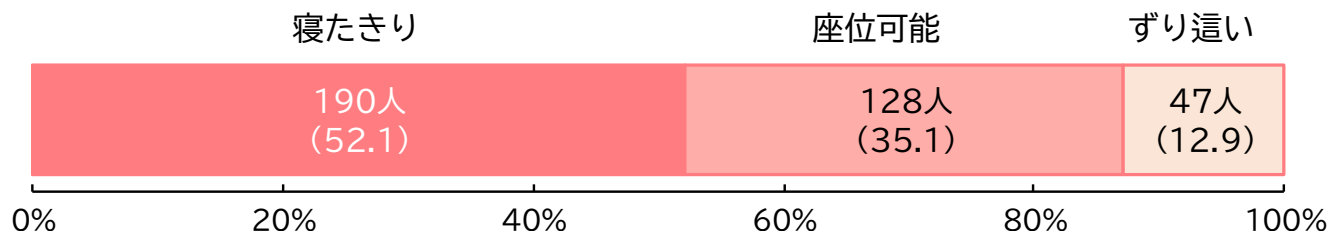


		療育手帳							計
		A	A1	A2	B1	B2	なし	未記入	
身体障害者手帳	1級	24	213	20	0	5	64	21	347
	2級	2	24	13	1	3	9	2	54
	3級	1	4	6	0	0	10	3	24
	4級	0	0	0	0	2	5	3	10
	5級	0	1	0	0	0	1	0	2
	6級	0	0	0	0	0	1	0	1
	なし	0	3	6	8	8	53	2	80
	未記入	1	1	1	0	0	1	5	9
計		28	246	46	9	18	144	36	527

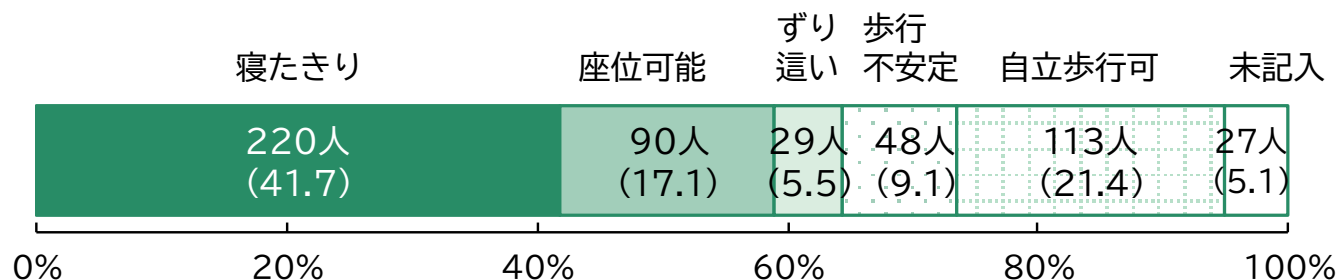
1-4.身体状況・姿勢

- 重症心身障がい児者では、「寝たきり」が約半数を占める。
- 医療的ケア児者では、「寝たきり」が約4割と最も多い。また、「歩行不安定」、「自立歩行可」と回答したいわゆる動く医療的ケア児者は約3割であった。

■重症心身障がい児者（回答数= 365人）



■医療的ケア児者（回答数= 527人）

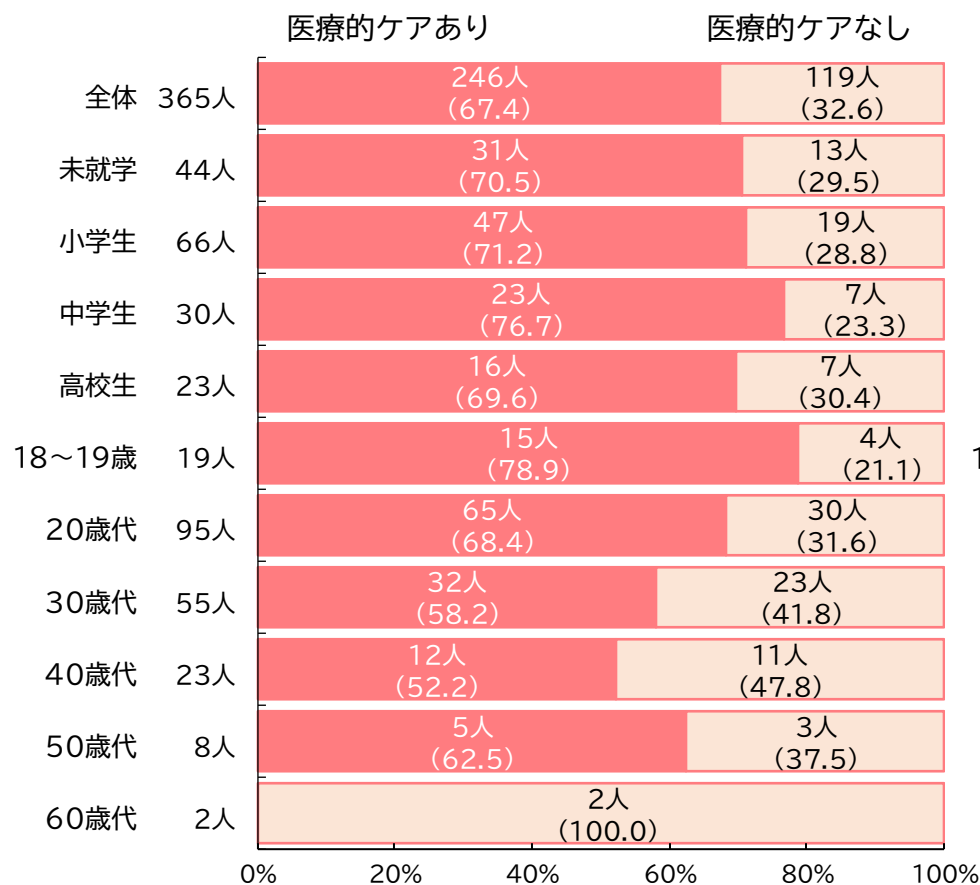


1-5.医療的ケアの状況

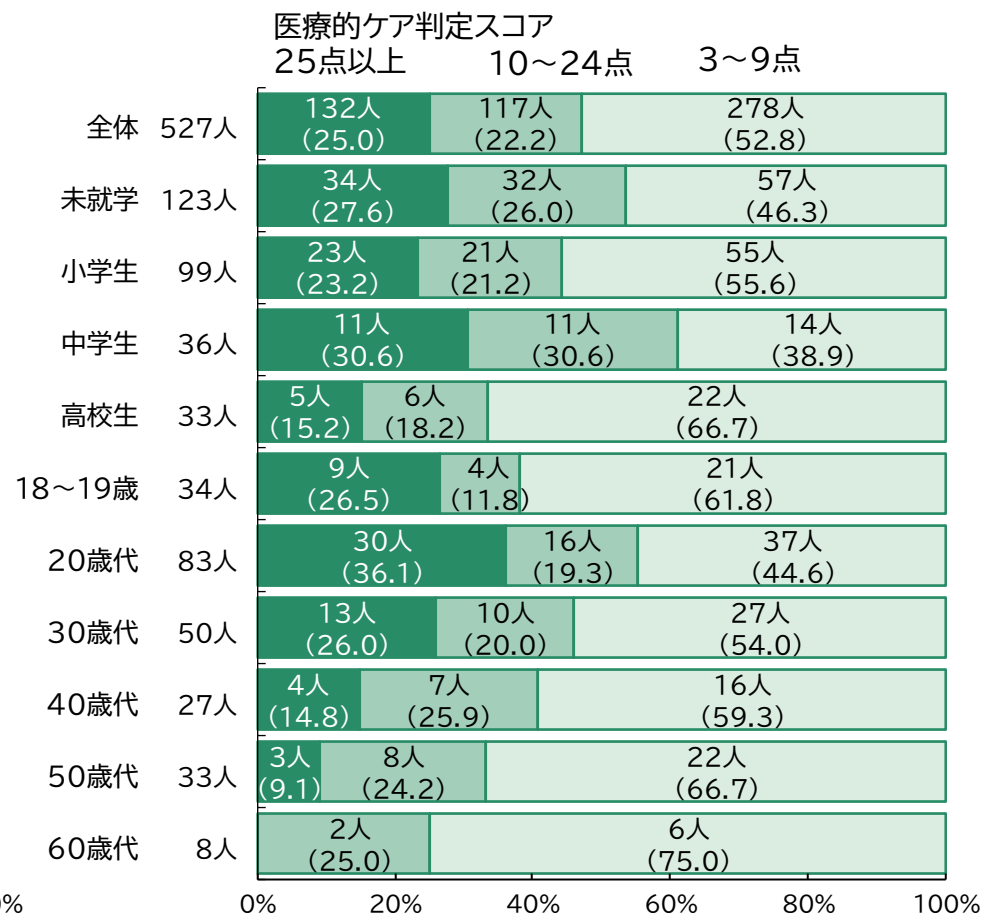
○重症心身障がい児者のうち、医療的ケアを必要とする方は、246人（67.4%）であった。

○医療的ケア児者のうち、医療的ケアの判定スコア別に見ると、25点以上が132人（25.0%）、10～24点が117人（22.2%）、3～9点が278人（52.8%）であった。

■重症心身障がい児者（回答数= 365人）



■医療的ケア児者（回答数= 527人）

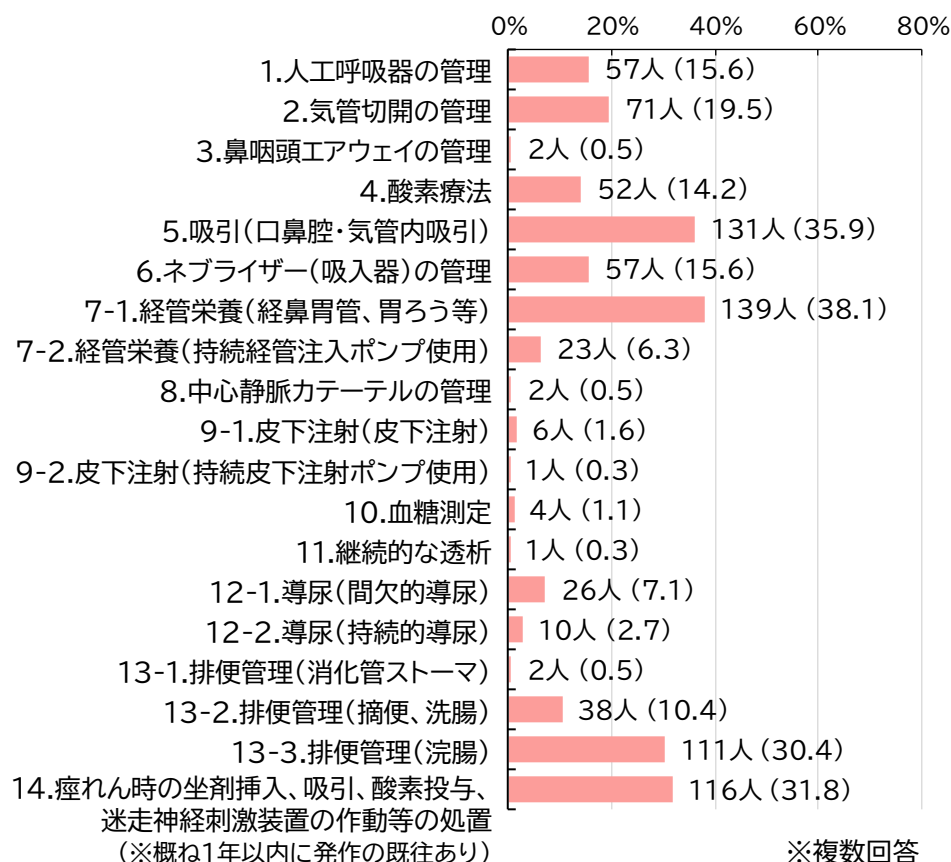


1-6.必要な医療的ケア

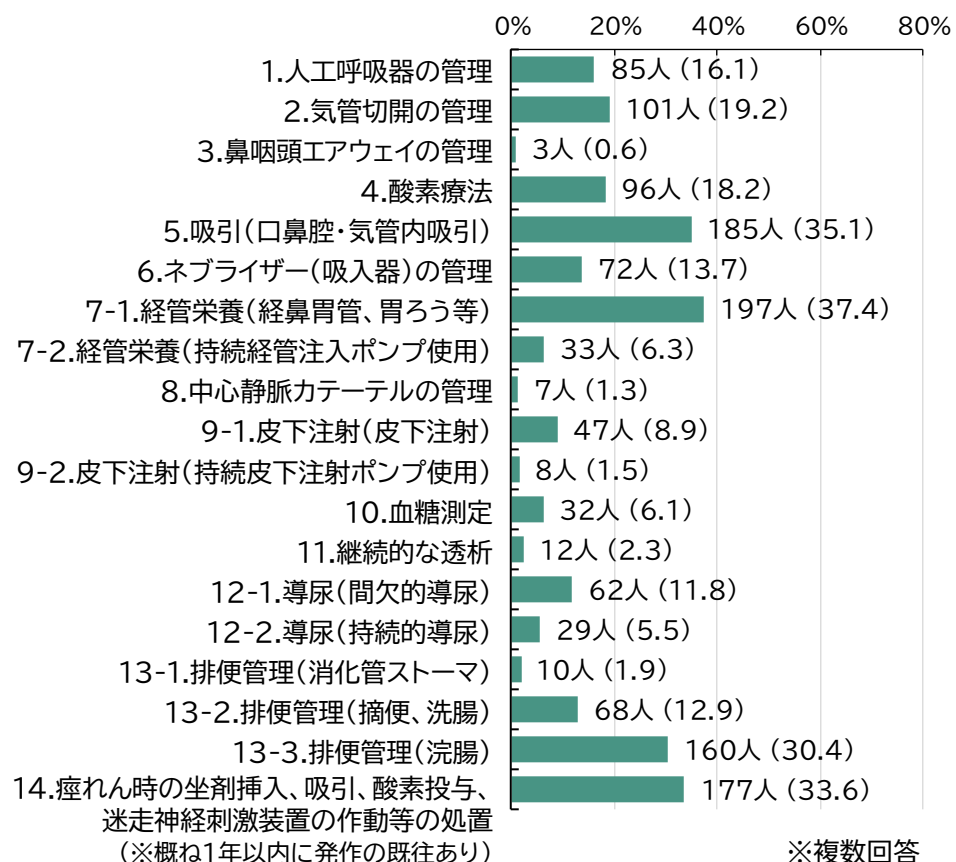
○重症心身障がい児者・医療的ケア児者とも、必要とする医療的ケアの内容は、「経管栄養（経鼻胃管、胃ろう等）」が最も多く、次いで「吸引（口鼻腔・気管内吸引）」であった。

○また、人工呼吸器を装着している方は85人（うち重症心身障がい児者は57人）であった。

■ 重症心身障がい児者（回答数= 365人）



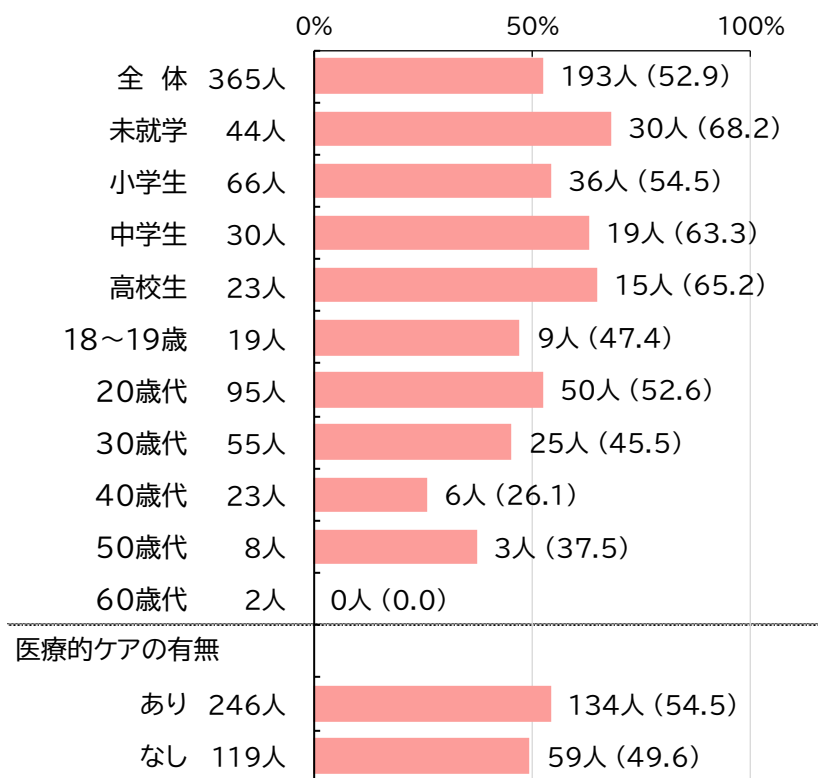
■ 医療的ケア児者（回答数= 527人）



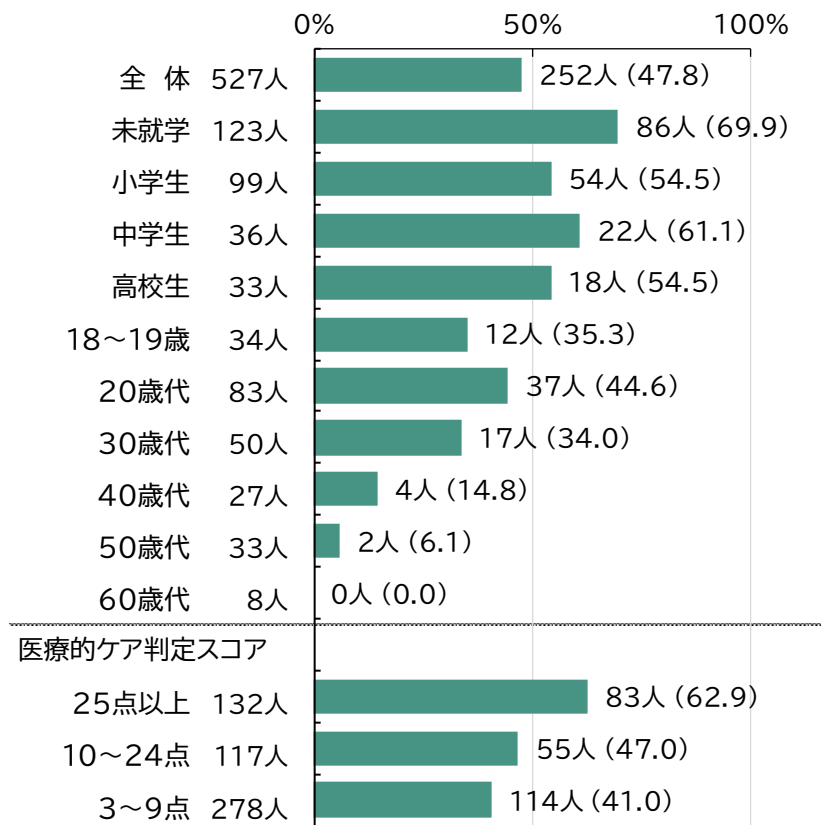
1-7. NICU入院経験者

- 重症心身障がい児者・医療的ケア児者とも、出生時にNICUに入院した経験のある方は約半数を占める。また、医療的ケア判定スコアが高いほどNICUの入院経験率が高くなっている。
- 重症心身障がい児者では、未就学～高校生、20歳代で5割以上がNICU入院の経験がある。
- 医療的ケア児者では、高校生以下で5割以上がNICU入院の経験があり、そのうち未就学児の約7割がNICUに入院していた。

■ 重症心身障がい児者（回答数= 365人）



■ 医療的ケア児者（回答数= 527人）



1-8. NICU入院経験者の医療機関先

○重症心身障がい児者・医療的ケア児者とも「岐阜県総合医療センター」が最も多く、次いで「長良医療センター」又は「大垣市民病院」となっている。また、県外のNICUに入院している方もいた。

■重症心身障がい児者（入院経験者回答数= 193人）

医療機関		回答数
岐阜県	岐阜県総合医療センター	59人
	長良医療センター	28人
	大垣市民病院	24人
	県立多治見病院	18人
	岐阜大学医学部附属病院	9人
	岐阜市民病院	8人
	高山赤十字病院	6人
	その他岐阜県内病院	1人
愛知県	日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院・第二病院	10人
	愛知県医療療育総合センター	7人
	名古屋市立大学病院	2人
	その他愛知県内病院	5人
その他県外病院		14人

※複数回答

■医療的ケア児者（入院経験者回答数= 252人）

医療機関		回答数
岐阜県	岐阜県総合医療センター	93人
	大垣市民病院	37人
	長良医療センター	31人
	県立多治見病院	22人
	岐阜大学医学部附属病院	11人
	岐阜市民病院	7人
	高山赤十字病院	4人
	その他岐阜県内病院	2人
愛知県	日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院・第二病院	10人
	愛知県医療療育総合センター	5人
	その他愛知県内病院	11人
その他県外	長野県立こども病院	5人
	富山大学附属病院	4人
	その他県外病院	18人

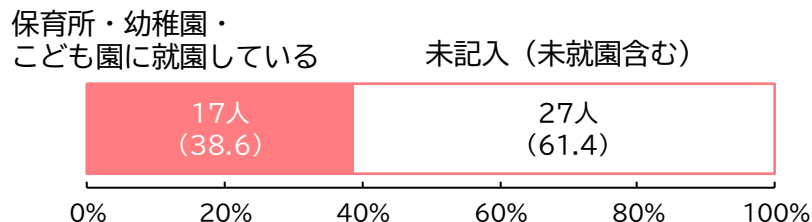
※複数回答

1-9.就園・就学状況

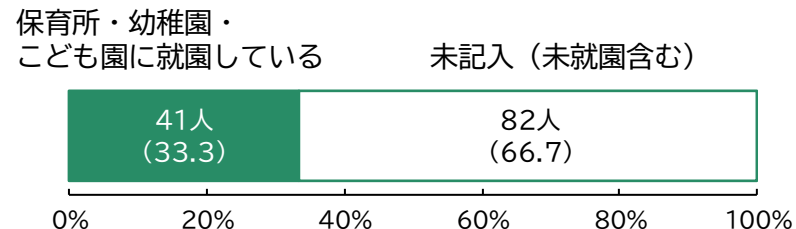
○特別支援学校に通学している児童は、重症心身障がい児で約9割、医療的ケア児で約7割を占める。

○通常学級又は特別支援学級に通学する児童は、重症心身障がい児で2人、医療的ケア児で29人であった。

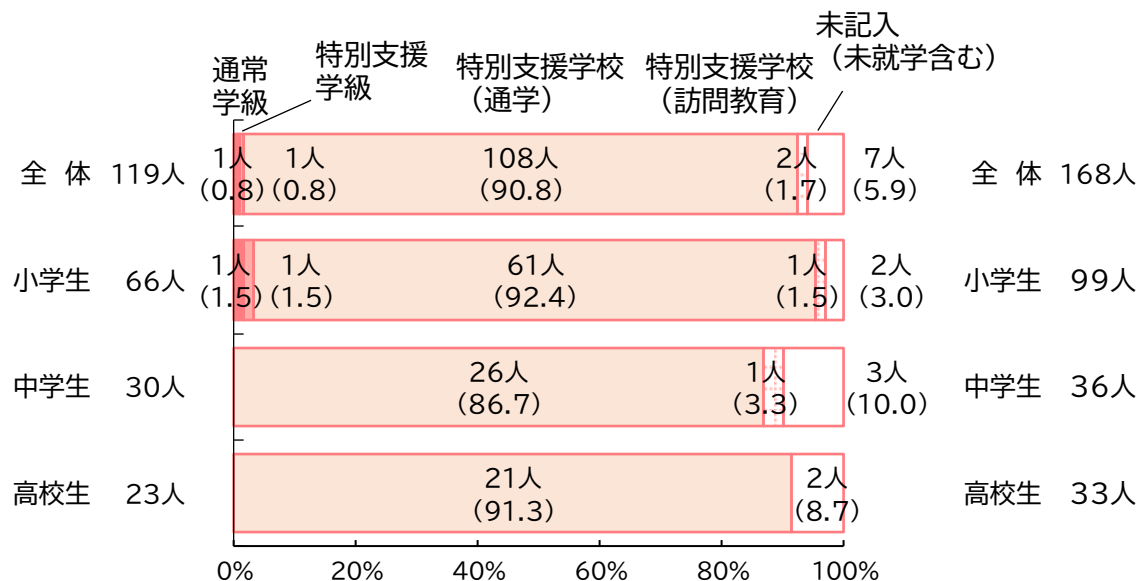
■重症心身障がい児（未就学児回答数= 44人）



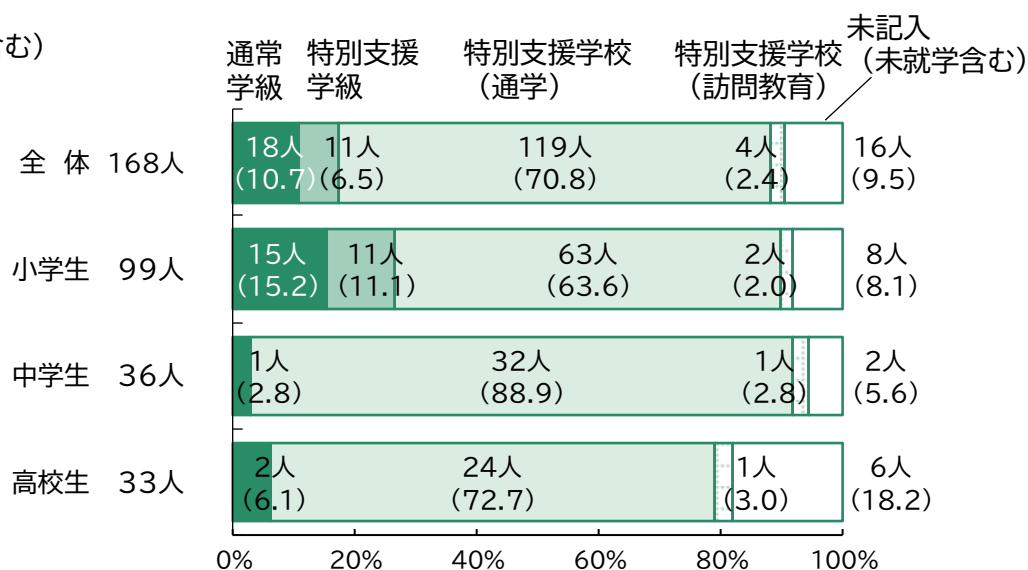
■医療的ケア児（未就学児回答数= 123人）



■重症心身障がい児（小中高生回答数= 119人）



■医療的ケア児（小中高生回答数= 168人）

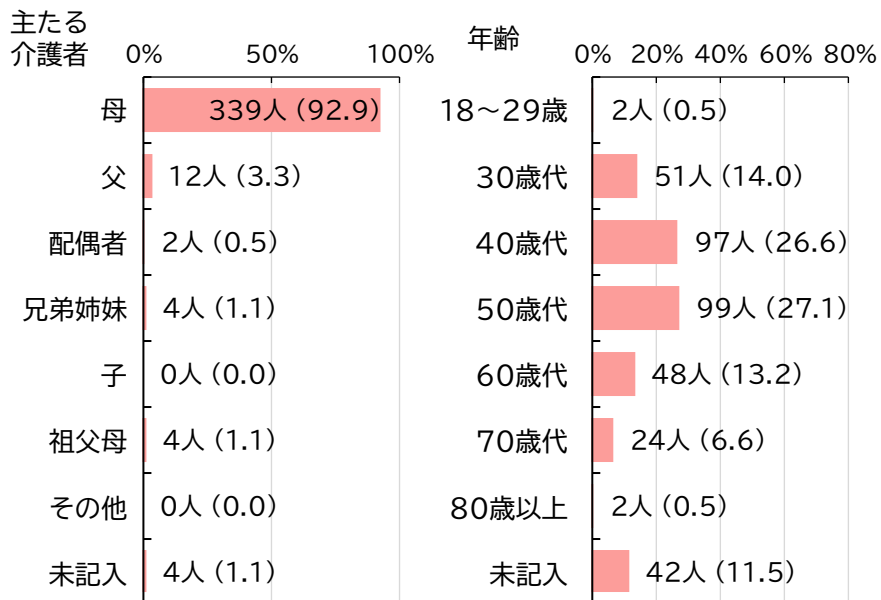


(2) 介護者の状況

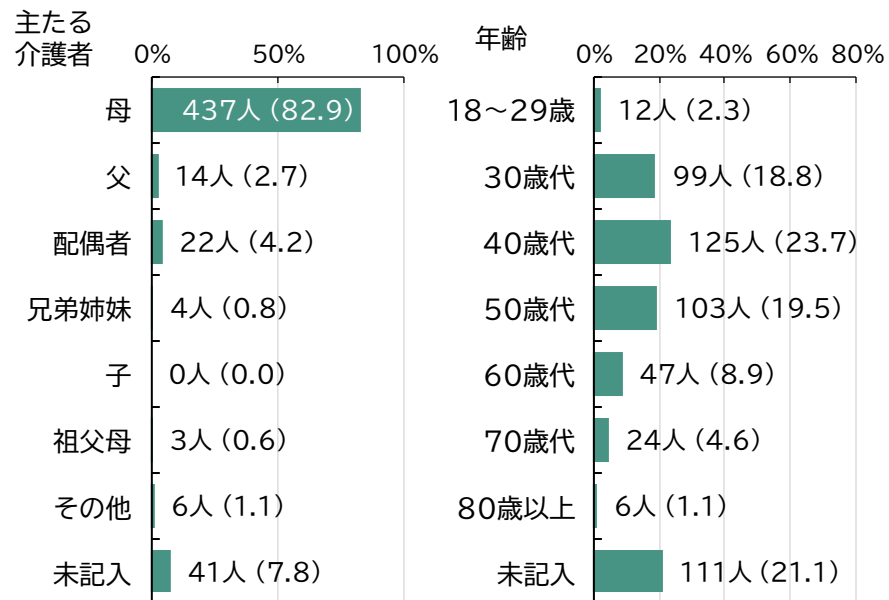
2-1.主たる介護者の続柄と年齢

- 主たる介護者は、重症心身障がい児者・医療的ケア児者とも「母親」が最も多い。
- その介護者の年齢は、重症心身障がい児者では「40歳代」と「50歳代」が約半数を占め、医療的ケア児者では「40歳代」が最も多く、次いで「50歳代」、「30歳代」となっている。

■ 重症心身障がい児者（回答数= 365人）



■ 医療的ケア児者（回答数= 527人）

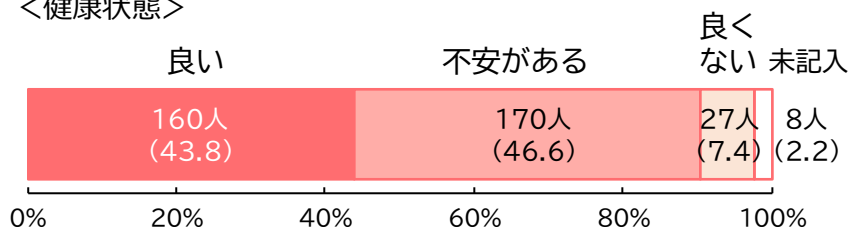


2-2.主たる介護者の健康状態と睡眠状態

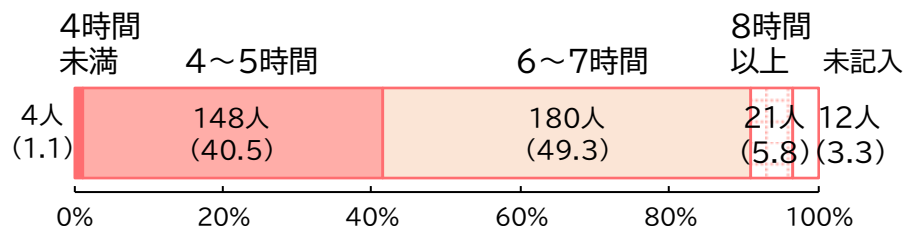
- 主たる介護者の健康状態について、「不安がある」「良くない」を合わせると、重症心身障がい児者で5割台半ば、医療的ケア児者で4割台半ばとなっている。
- 睡眠時間について、「6～7時間」が重症心身障がい児者で約半数、医療的ケア児者で4割台半ばとなっており、「まとまった時間眠れる」方の割合は、重症心身障がい児者の介護者の方が高い。

■重症心身障がい児者（回答数= 365人）

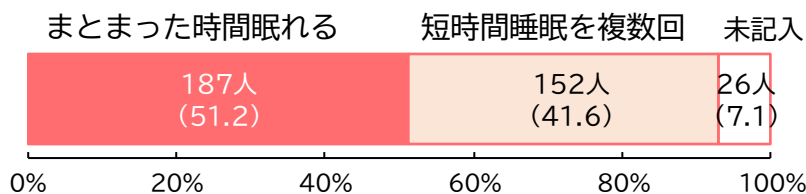
<健康状態>



<睡眠時間>

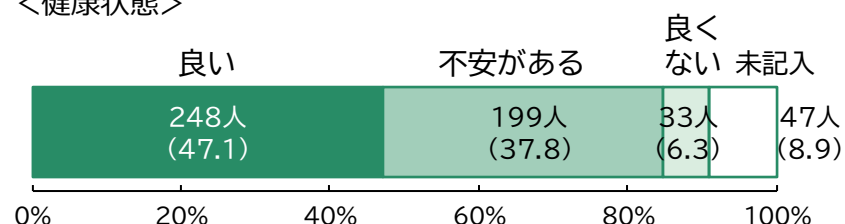


<睡眠の取り方>

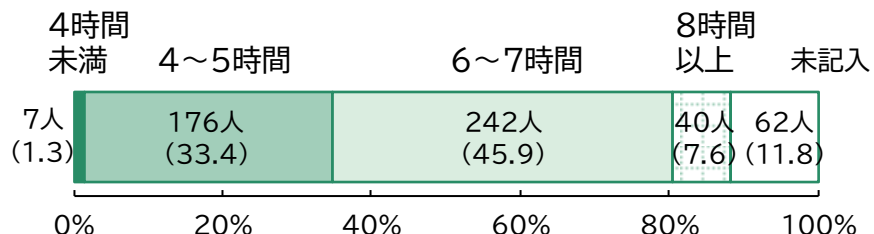


■医療的ケア児者（回答数= 527人）

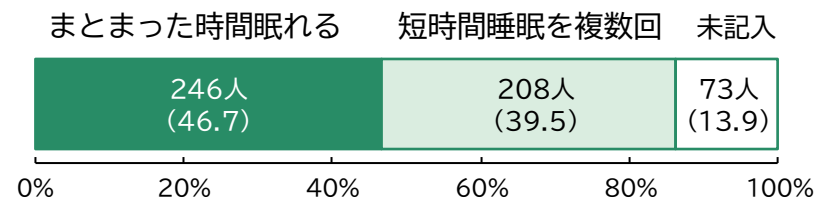
<健康状態>



<睡眠時間>

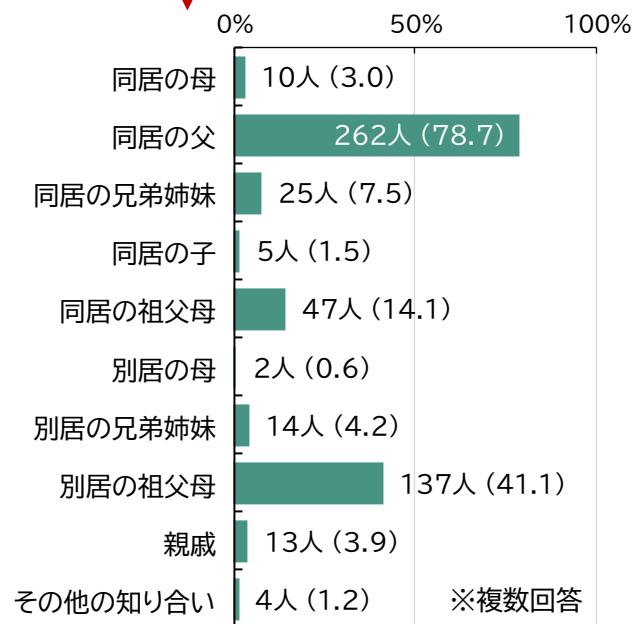
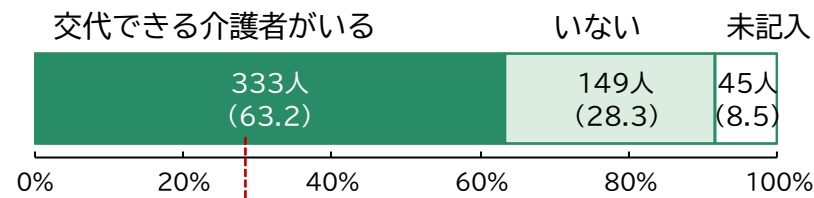


<睡眠の取り方>



○重症心身障がい児者・医療的ケア児者とも、交代できる介護者がいる方が6割超で、交代できる介護者は「同居の父親」が最も多い。一方、交代できる人がいない人は、約3割であった。

■ 医療的ケア児者（回答数= 527人）

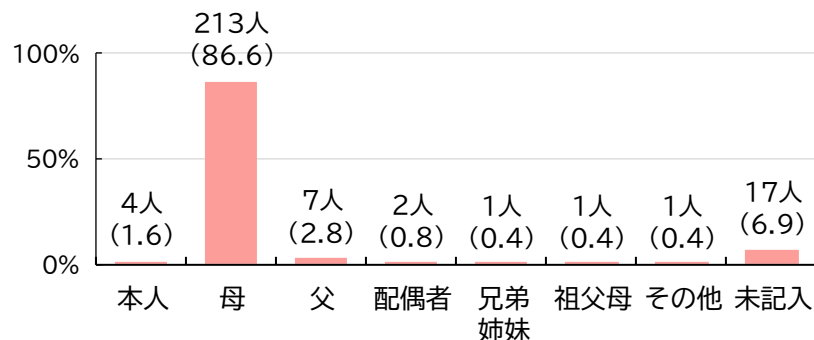


2-4.医療的ケアを行っている介護者

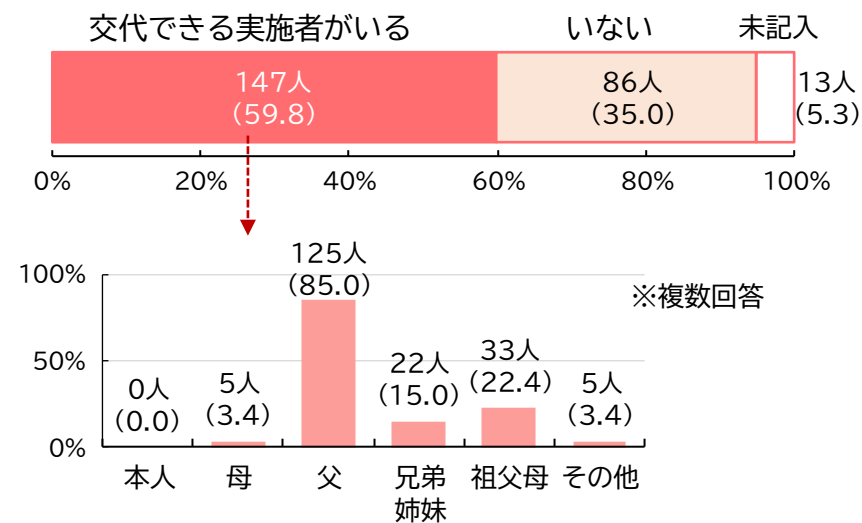
○医療的ケアを行っている主な介護者は「母親」が7割超で、交代できる実施者は「父親」が最も多い。

■重症心身障がい児者（医療的ケアありの回答数= 246人）

＜医療的ケアを行っている主な介護者＞

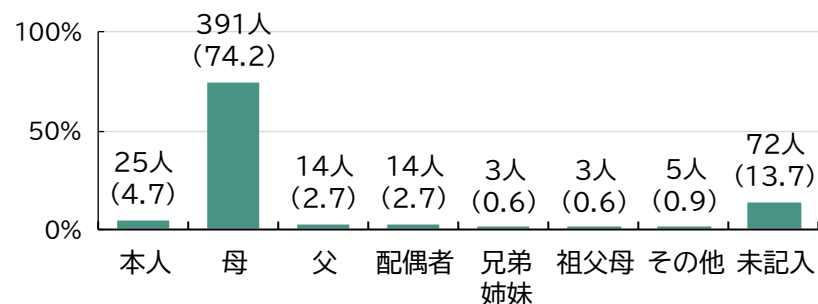


＜医療的ケアを交代できる実施者＞

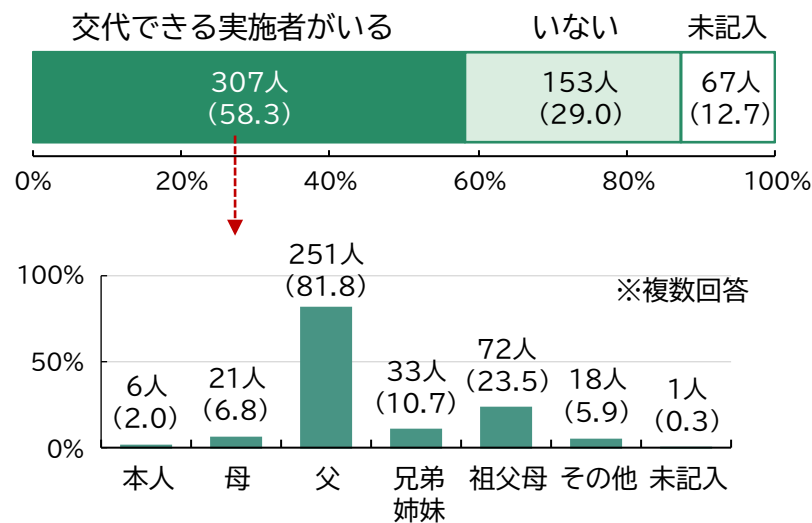


■医療的ケア児者（回答数= 527人）

＜医療的ケアを行っている主な介護者＞



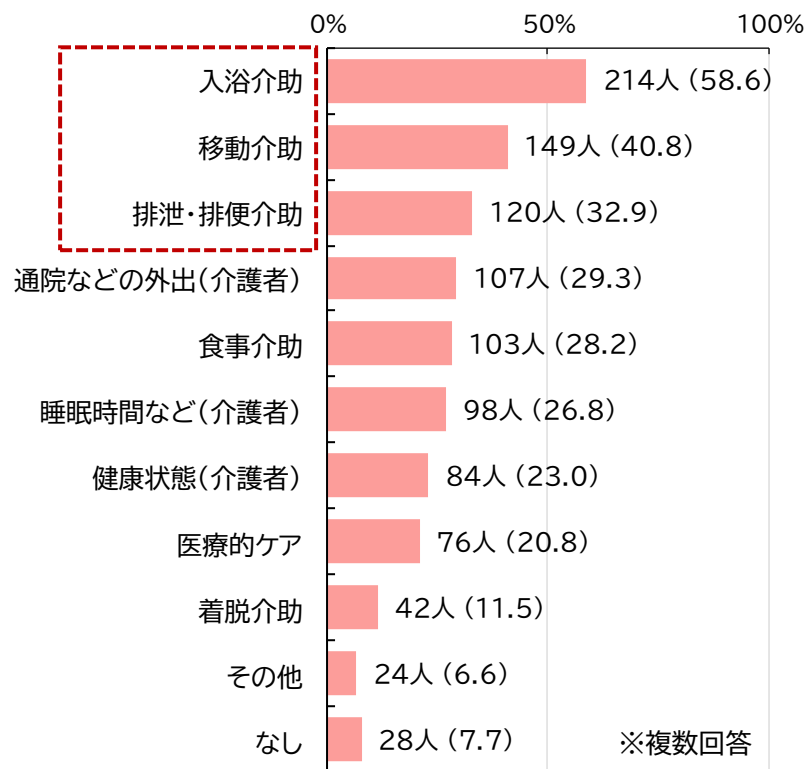
＜医療的ケアを交代できる実施者＞



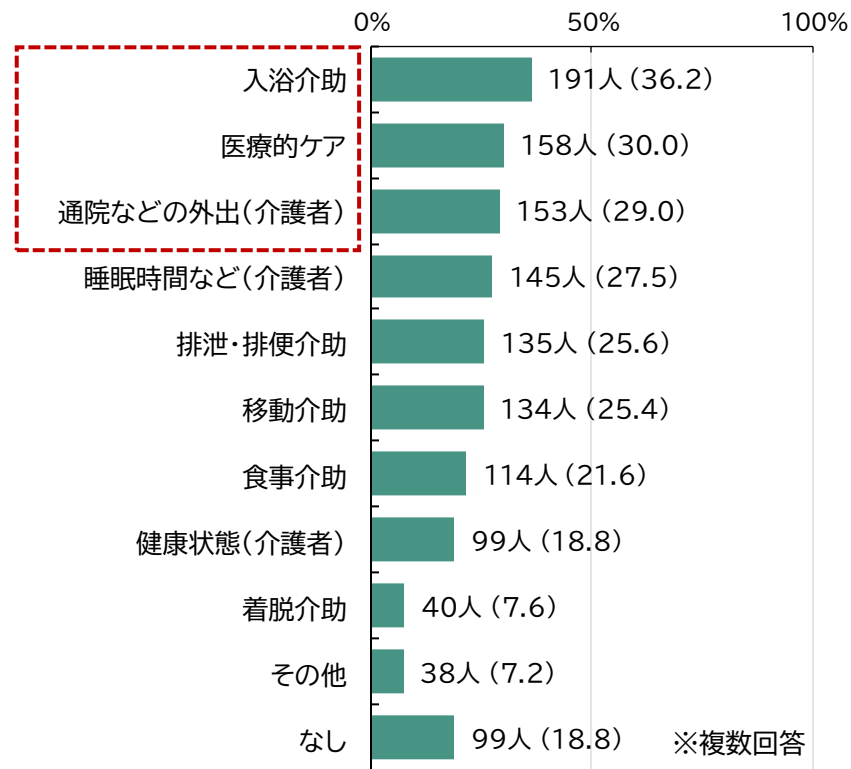
2-5.介護するうえで負担と感じていること

- 重症心身障がい児者・医療的ケア児者とも「入浴介助」が最も多い（重症心身障がい児者で約6割。医療的ケア児者で約4割）。
- 次に多いのは、重症心身障がい児者では「移動介助」「排泄・排便介助」、医療的ケア児者では「医療的ケア」「通院などの外出（介護者）」の順であった。

■ 重症心身障がい児者（回答数= 365人）



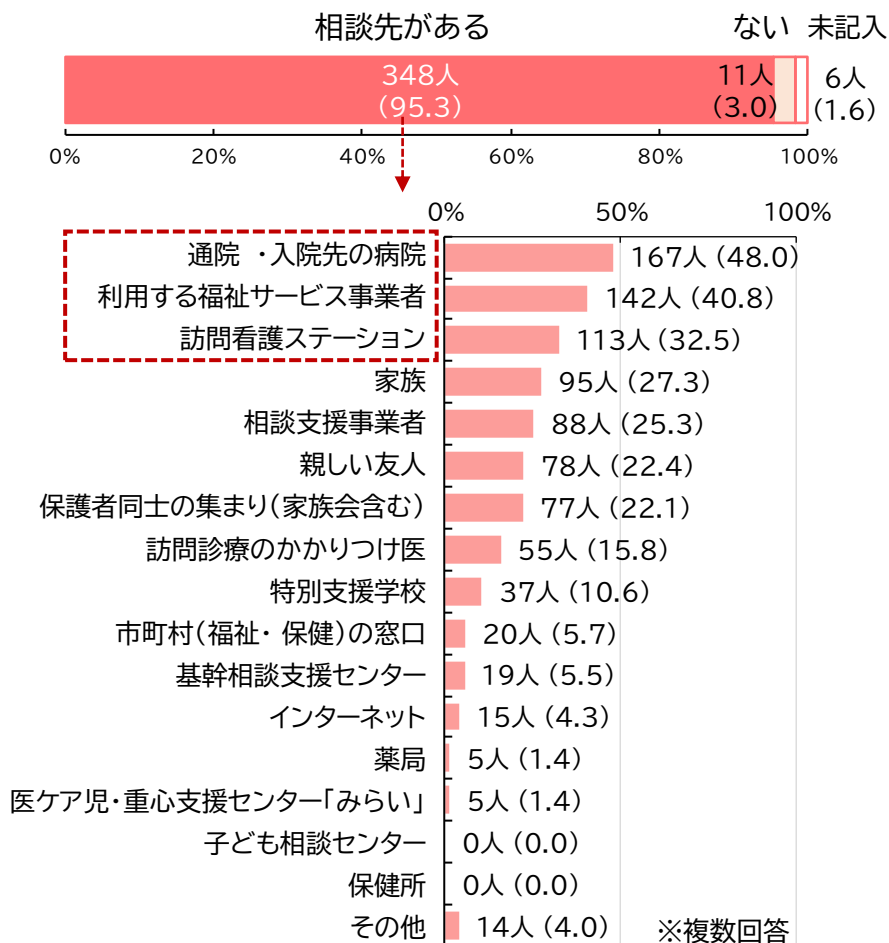
■ 医療的ケア児者（回答数= 527人）



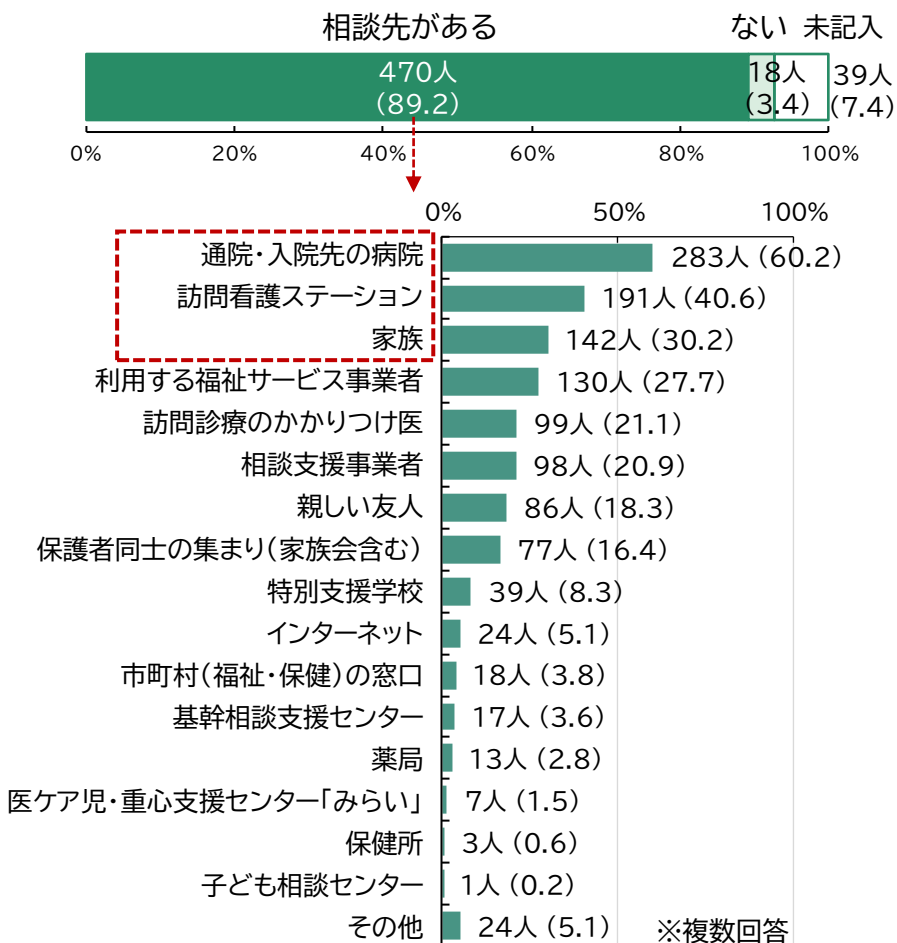
2-6.日頃の悩み等の相談先

- 相談先がある方は、重症心身障がい児者・医療的ケア児者とも約9割で、具体的な相談先は、重症心身障がい児者・医療的ケア児者とも「通院・入院先の病院」が最も多い。
- 具体的な相談先について、次に多いのは、重症心身障がい児者で「利用する福祉サービス事業者」、「訪問看護ステーション」、医療的ケア児者で「訪問看護ステーション」、「家族」の順であった。

■重症心身障がい児者（回答数= 365人）



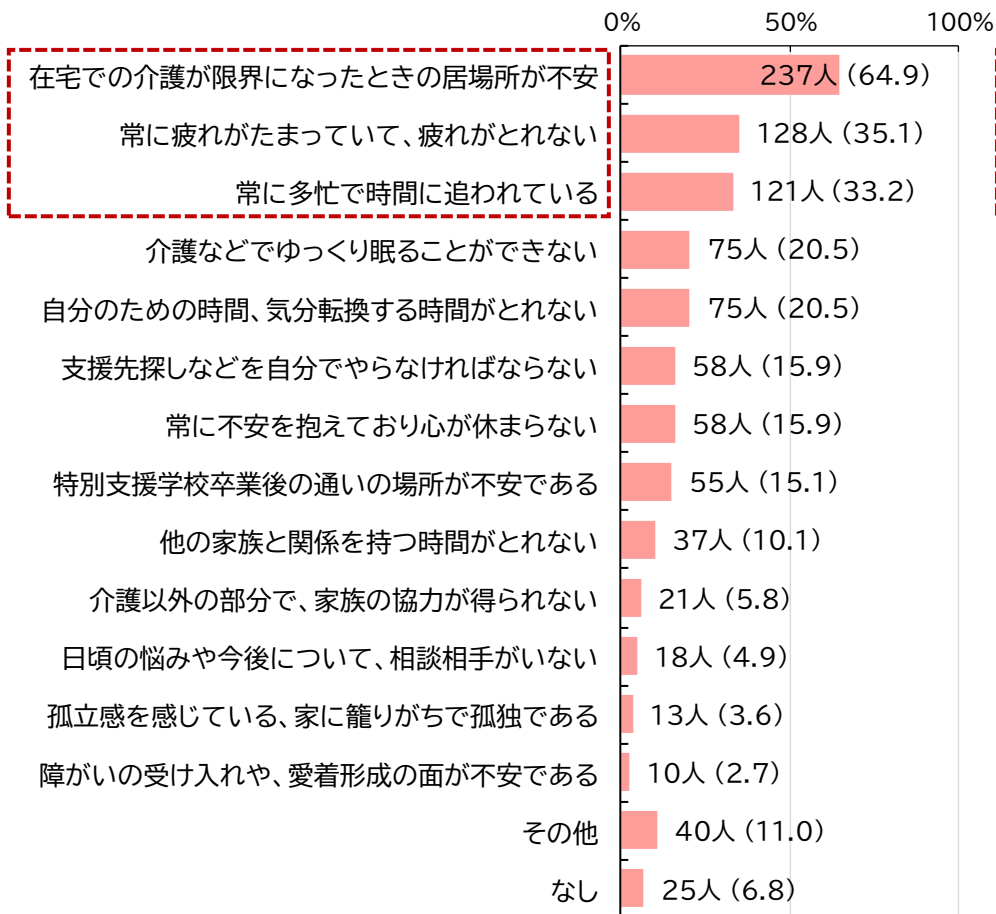
■医療的ケア児者（回答数= 527人）



2-7.日頃不安・不満に感じていること

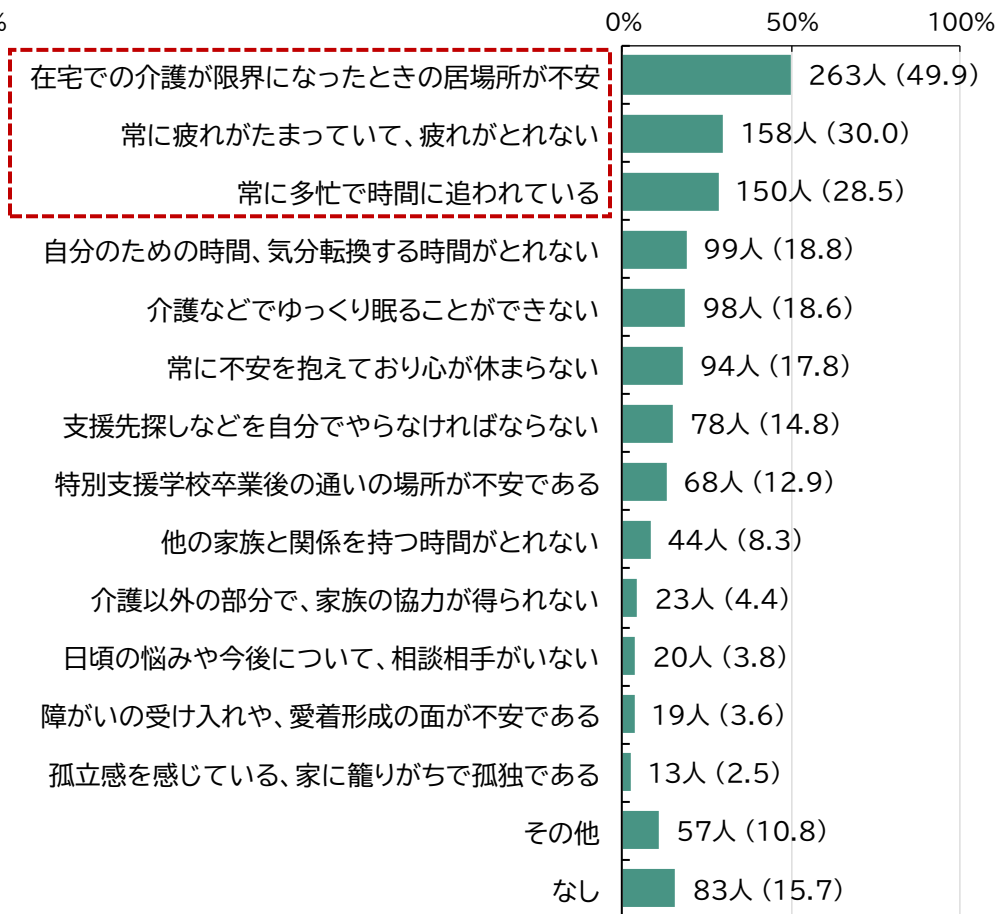
○重症心身障がい児者・医療的ケア児者とも、「在宅での介護が限界になったときの居場所が不安」が最も多く、次いで「常に疲れがたまっていて、疲れがとれない」、「常に多忙で時間に追われている」の順であった。

■ 重症心身障がい児者（回答数= 365人）



※複数回答

■ 医療的ケア児者（回答数= 527人）



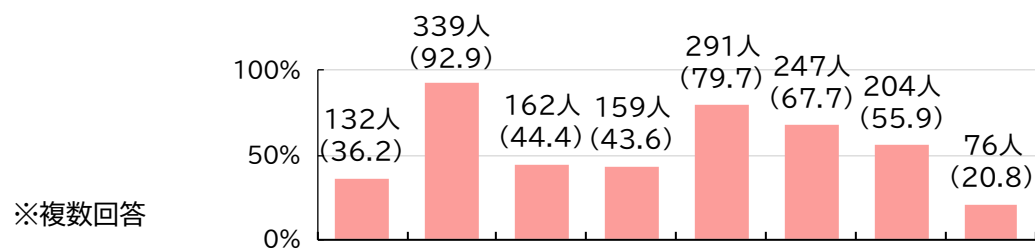
※複数回答

(3) 医療等サービスの利用状況

3-1.医療サービスの利用状況①

- 重症心身障がい児者の医療サービスの利用状況は「通院」が9割以上、「リハビリ」が約8割となっている。
- 岐阜市、岐阜圏域では「訪問看護」が5割以上と高く、中濃圏域では「訪問看護」が3割以下となっている。
- 18歳未満では、医療的ケアのありで訪問診療が約5割、訪問看護が約6割となっている。

■重症心身障がい児者（回答数= 365人）



区分			訪問診療	通院	入院	訪問看護	リハビリ	歯科診療	健診 歯科定期	指導 訪問薬剤
圏域別	岐阜市	95人	42.1	94.7	46.3	51.6	88.4	75.8	57.9	28.4
	岐阜圏域	71人	49.3	87.3	43.7	57.7	84.5	66.2	54.9	25.4
	西濃圏域	65人	26.2	89.2	38.5	44.6	75.4	67.7	58.5	18.5
	中濃圏域	62人	30.6	96.8	41.9	24.2	74.2	67.7	58.1	14.5
	東濃圏域	52人	30.8	96.2	48.1	34.6	69.2	63.5	42.3	15.4
	飛騨圏域	20人	25.0	95.0	55.0	35.0	80.0	45.0	70.0	10.0
児者・医療的ケアの有無別	18歳未満	163人	42.3	98.8	62.6	50.3	94.5	75.5	68.1	30.1
	医ケアあり	117人	53.8	99.1	72.6	60.7	96.6	81.2	70.1	41.9
	医ケアなし	46人	13.0	97.8	37.0	23.9	89.1	60.9	63.0	0.0
	18歳以上	202人	31.2	88.1	29.7	38.1	67.8	61.4	46.0	13.4
	医ケアあり	129人	39.5	90.7	41.9	51.2	70.5	64.3	41.9	19.4
	医ケアなし	73人	16.4	83.6	8.2	15.1	63.0	56.2	53.4	2.7

(%)

<通院先所在地の内訳>

回答数	居住市町村と同じ	居住市町村以外
339人	166人	217人
100.0%	49.0%	64.0%

※複数回答

<リハビリの利用形態の内訳>

回答数	訪問リハ	通院リハ
291人	175人	193人
100.0%	60.1%	66.3%

※複数回答

<歯科診療の利用形態の内訳>

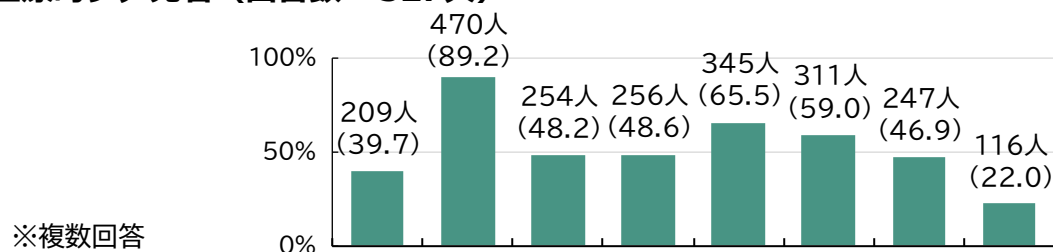
回答数	訪問歯科診療	通院
247人	51人	198人
100.0%	20.6%	80.2%

※複数回答

3-1.医療サービスの利用状況②

- 医療的ケア児者の医療サービスの利用状況は、「通院」が約9割、「リハビリ」が6割台半ばとなっている。
- 岐阜市、岐阜圏域では「訪問診療」が約5割、「訪問看護」が6割近くと高い。
- 18歳未満、18歳以上ともに医療的ケア判定スコアが高いほど「訪問診療」「通院」「入院」「訪問看護」「リハビリ」「歯科（診療）」「訪問薬剤指導」が高くなっている。

■医療的ケア児者（回答数＝527人）



区分			訪問診療	通院	入院	訪問看護	リハビリ	歯科診療	健診 歯科定期	指導 訪問薬剤
圏域別	岐阜市	134人	50.7	91.0	50.7	59.7	76.1	67.9	44.0	30.6
	岐阜圏域	105人	49.5	85.7	47.6	57.1	65.7	60.0	48.6	26.7
	西濃圏域	103人	33.0	83.5	37.9	42.7	55.3	54.4	45.6	18.4
	中濃圏域	79人	26.6	93.7	53.2	34.2	67.1	58.2	57.0	17.7
	東濃圏域	79人	34.2	92.4	48.1	40.5	57.0	59.5	45.6	12.7
	飛騨圏域	27人	25.9	92.6	63.0	48.1	70.4	29.6	33.3	14.8
児者・医療的 ケア判定スコア別	18歳未満	291人	39.5	92.8	60.5	47.1	71.1	60.5	56.0	27.1
	25点以上	73人	75.3	97.3	83.6	84.9	90.4	74.0	50.7	67.1
	10～24点	70人	44.3	94.3	61.4	57.1	78.6	61.4	55.7	32.9
	3～9点	148人	19.6	89.9	48.6	23.6	58.1	53.4	58.8	4.7
	18歳以上	236人	39.8	84.7	33.1	50.4	58.5	57.2	35.6	15.7
	25点以上	59人	61.0	91.5	62.7	74.6	76.3	66.1	33.9	33.9
	10～24点	47人	51.1	85.1	38.3	66.0	74.5	63.8	23.4	14.9
	3～9点	130人	26.2	81.5	17.7	33.8	44.6	50.8	40.8	7.7

(%)

＜通院先所在地の内訳＞

回答数	居住市町村と同じ	居住市町村以外
470人	229人	300人
100.0%	48.7%	63.8%

※複数回答

＜リハビリの利用形態の内訳＞

回答数	訪問リハ	通院リハ
345人	222人	196人
100.0%	64.3%	56.8%

※複数回答

＜歯科診療の利用形態の内訳＞

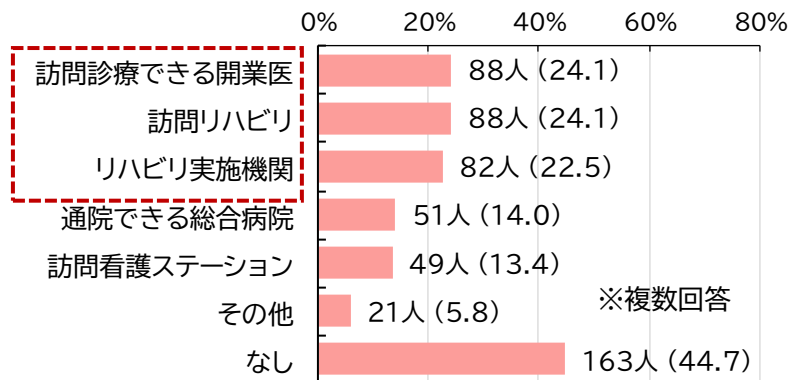
回答数	訪問歯科診療	通院
311人	77人	237人
100.0%	24.8%	76.2%

※複数回答

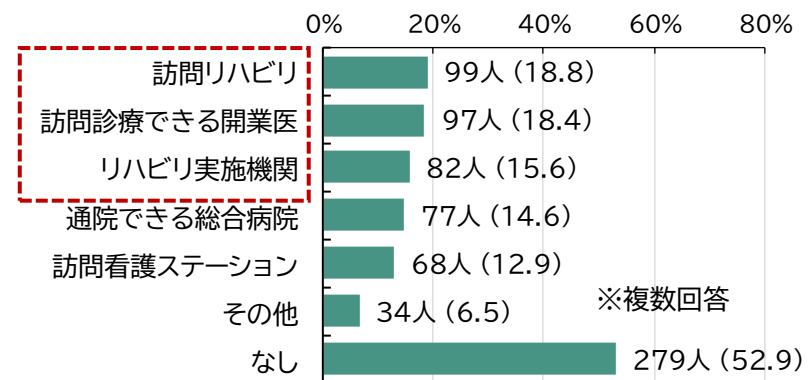
3-2.今後利用したい医療サービス

- 重症心身障がい児者では、「訪問診療できる開業医」「訪問リハビリ」がともに最も多く、次いで「リハビリ実施機関」の順であった。
- なお、重症心身障がい児者のうち、医療的ケアのある方は「訪問診療できる開業医」「訪問リハビリ」、医療的ケアのない方は「リハビリ実施機関」が最も多くなっている。
- 医療的ケア児者では、「訪問リハビリ」が最も多く、次いで「訪問診療できる開業医」、「リハビリ実施機関」の順であった。東濃圏域、飛騨圏域では、「訪問リハビリ」が約3割となっている。

■ 重症心身障がい児者（回答数= 365人）



■ 医療的ケア児者（回答数= 527人）



区分		訪問診療できる開業医	訪問リハビリ	リハビリ実施機関	通院できる総合病院	訪問看護ステーション	その他
圏域別	岐阜市	95人	23.2	18.9	14.7	11.6	6.3
	岐阜圏域	71人	23.9	22.5	22.5	11.3	7.0
	西濃圏域	65人	26.2	18.5	27.7	9.2	18.5
	中濃圏域	62人	27.4	29.0	22.6	24.2	3.2
	東濃圏域	52人	21.2	32.7	23.1	13.5	9.6
	飛騨圏域	20人	20.0	35.0	40.0	25.0	0.0
	飛騨圏域	20人	20.0	35.0	40.0	25.0	0.0
医ケア有無別	医ケアあり	246人	23.6	23.6	19.1	13.8	13.8
	医ケアなし	119人	25.2	25.2	29.4	14.3	12.6

(%)

区分		訪問リハビリ	訪問診療できる開業医	リハビリ実施機関	通院できる総合病院	訪問看護ステーション	その他
圏域別	岐阜市	134人	13.4	17.9	11.9	11.9	10.4
	岐阜圏域	105人	19.0	21.9	11.4	7.6	14.3
	西濃圏域	103人	12.6	17.5	20.4	15.5	9.7
	中濃圏域	79人	21.5	19.0	15.2	22.8	20.3
	東濃圏域	79人	29.1	15.2	16.5	17.7	16.5
	飛騨圏域	27人	29.6	18.5	29.6	18.5	0.0
	飛騨圏域	27人	29.6	18.5	29.6	18.5	0.0
スコア別	25点以上	132人	19.7	22.0	12.9	13.6	17.4
	10～24点	117人	20.5	19.7	17.1	13.7	16.2
	3～9点	278人	17.6	16.2	16.2	15.5	9.4

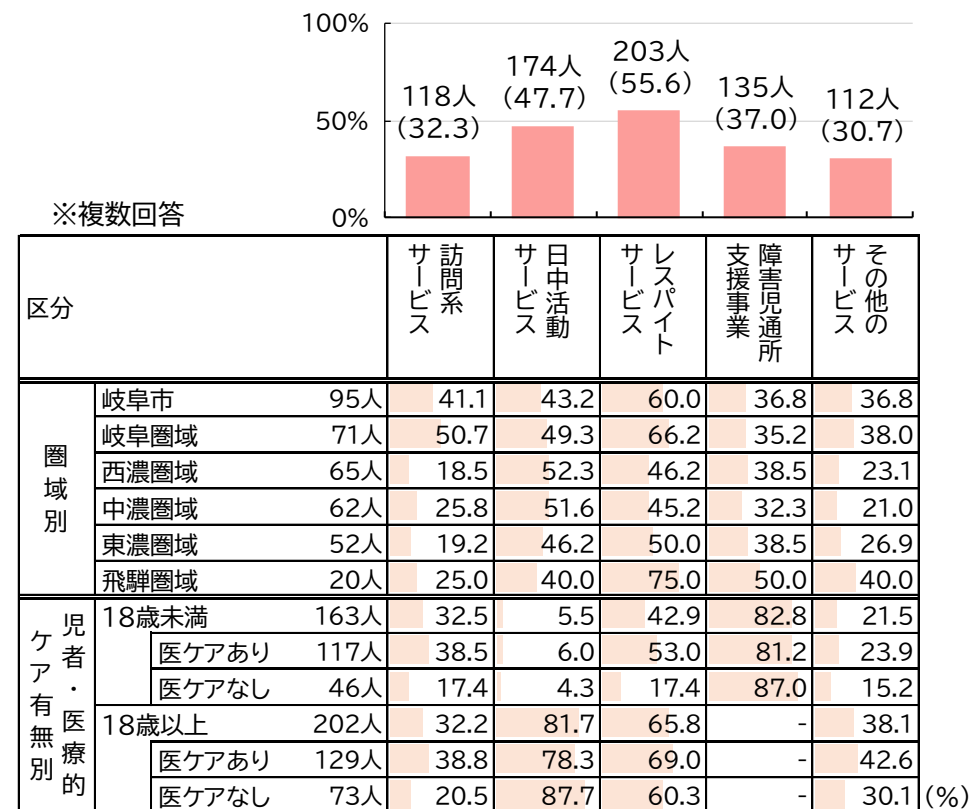
(%)

(3) 福祉サービスの利用状況

4-1.福祉サービスの利用状況①

- 重症心身障がい児者の福祉サービスの利用状況は、「レスパイトサービス」が5割以上、「日中活動サービス」が5割近くが利用している。
- 岐阜市、岐阜圏域、飛騨圏域では「レスパイトサービス」の利用率が6割以上となっている一方で、西濃圏域、中濃圏域の利用率は4割台となっている。
- 18歳未満では、医療的ケアありで「レスパイトサービス」の利用率が5割を超える。

■重症心身障がい児者（回答数= 365人）



<訪問系サービスの利用頻度※>

回答数	ほぼ毎日	1週間に数回	1か月に数回	その他
116人	24人	70人	18人	4人
100.0%	20.7%	60.3%	15.5%	3.4%

<日中活動サービス（生活介護）の利用頻度※>

回答数	ほぼ毎日	1週間に数回	1か月に数回	その他
168人	119人	38人	8人	3人
100.0%	70.8%	22.6%	4.8%	1.8%

<レスパイトサービス（短期入所）の利用頻度※>

回答数	ほぼ毎日	1週間に数回	1か月に数回	その他
168人	1人	8人	98人	61人
100.0%	0.6%	4.8%	58.3%	36.3%

<障害児通所支援事業（放課後等デイ）の利用頻度※>

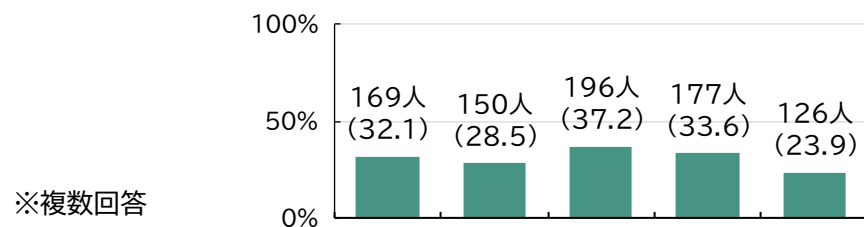
回答数	ほぼ毎日	1週間に数回	1か月に数回	その他
101人	38人	56人	6人	1人
100.0%	37.6%	55.4%	5.9%	1.0%

※各利用頻度に回答した方のみ

4-1.福祉サービスの利用状況②

- 医療的ケア児者の福祉サービスの利用状況は、「レスパイトサービス」「障害児通所支援事業」「訪問系サービス」を3割以上が利用している。
- 岐阜市、岐阜圏域では「訪問系サービス」「レスパイトサービス」の利用率が約4割であった。
- 18歳未満では、「訪問系サービス」「レスパイトサービス」の利用率が判定スコア25点以上の医療的ケア児で5割を超える。

■医療的ケア児者（回答数＝527人）



区分		訪問系サービス	日中活動サービス	レスパイトサービス	障害児通所支援事業	その他のサービス
圏域別	岐阜市	134人	42.5	26.1	42.5	37.3
	岐阜圏域	105人	40.0	27.6	44.8	35.2
	西濃圏域	103人	21.4	27.2	30.1	28.2
	中濃圏域	79人	30.4	31.6	29.1	35.4
	東濃圏域	79人	24.1	30.4	35.4	29.1
	飛騨圏域	27人	18.5	33.3	37.0	37.0
児判定・医療的ケア別	18歳未満	291人	27.1	3.1	26.5	60.8
	25点以上	73人	53.4	5.5	56.2	74.0
	10～24点	70人	27.1	4.3	20.0	58.6
	3～9点	148人	14.2	1.4	14.9	55.4
	18歳以上	236人	38.1	59.7	50.4	-
	25点以上	59人	52.5	71.2	71.2	-
	10～24点	47人	38.3	57.4	59.6	-
	3～9点	130人	31.5	55.4	37.7	-

(%)

＜訪問系サービスの利用頻度※＞

回答数	ほぼ毎日	1週間に数回	1か月に数回	その他
165人	40人	93人	26人	6人
100.0%	24.2%	56.4%	15.8%	3.6%

＜日中活動サービス（生活介護）の利用頻度※＞

回答数	ほぼ毎日	1週間に数回	1か月に数回	その他
143人	95人	41人	6人	1人
100.0%	66.4%	28.7%	4.2%	0.7%

＜レスパイトサービス（短期入所）の利用頻度※＞

回答数	ほぼ毎日	1週間に数回	1か月に数回	その他
163人	2人	8人	90人	63人
100.0%	1.2%	4.9%	55.2%	38.7%

＜障害児通所支援事業（放課後等デイ）の利用頻度※＞

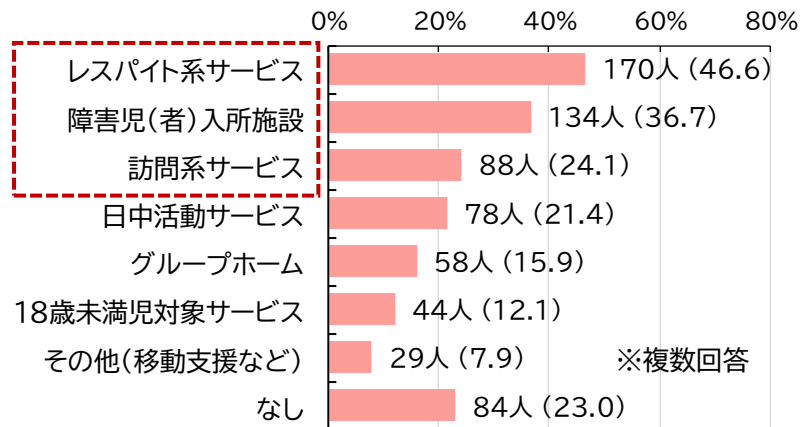
回答数	ほぼ毎日	1週間に数回	1か月に数回	その他
117人	46人	61人	9人	1人
100.0%	39.3%	52.1%	7.7%	0.9%

※各利用頻度に回答した方のみ

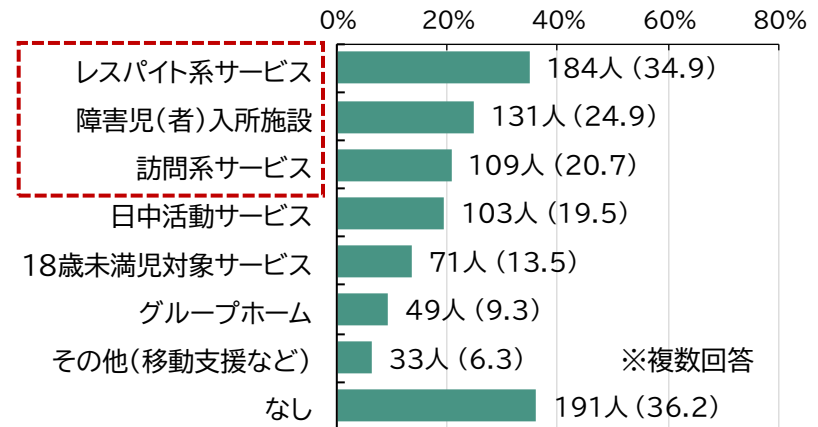
4-2.今後利用したい福祉サービス

- 重症心身障がい児者・医療的ケア児者とも、「レスパイト系サービス」が最も多く、医療的ケア判定スコアが25点以上で5割以上と高くなっている。
- 重症心身障がい児者のうち医療的ケアありで「レスパイト系サービス」、医療的ケアなしで「障害児（者）入所施設」が最も多い。

■重症心身障がい児者（回答数= 365人）



■医療的ケア児者（回答数= 527人）



区分		レスパイト系サービス	障害児（者）入所施設	訪問系サービス	日中活動サービス	グループホーム	18歳未満児対象サービス	その他（移動支援など）
圏域別	岐阜市	95人	45.3	34.7	18.9	11.6	17.9	10.5
	岐阜圏域	71人	47.9	36.6	25.4	29.6	14.1	8.5
	西濃圏域	65人	50.8	44.6	21.5	21.5	21.5	9.2
	中濃圏域	62人	33.9	32.3	38.7	16.1	12.9	14.5
	東濃圏域	52人	50.0	40.4	21.2	30.8	11.5	17.3
	飛騨圏域	20人	65.0	25.0	15.0	30.0	15.0	20.0
	飛騨圏域	20人	65.0	25.0	15.0	30.0	15.0	20.0
医ケア有無別	医ケアあり	246人	51.6	35.4	24.4	22.4	11.0	14.2
	医ケアなし	119人	36.1	39.5	23.5	19.3	26.1	7.6

(%)

区分		レスパイト系サービス	障害児（者）入所施設	訪問系サービス	日中活動サービス	18歳未満児対象サービス	グループホーム	その他（移動支援など）
圏域別	岐阜市	134人	36.6	26.9	20.9	15.7	17.2	11.9
	岐阜圏域	105人	37.1	21.0	21.0	21.9	8.6	3.8
	西濃圏域	103人	26.2	22.3	13.6	22.3	7.8	12.6
	中濃圏域	79人	32.9	24.1	30.4	20.3	19.0	10.1
	東濃圏域	79人	38.0	30.4	22.8	17.7	15.2	5.1
	飛騨圏域	27人	48.1	25.9	11.1	22.2	14.8	14.8
	飛騨圏域	27人	48.1	25.9	11.1	22.2	14.8	14.8
スコア別	25点以上	132人	52.3	28.0	28.8	25.0	14.4	4.5
	10～24点	117人	40.2	28.2	23.1	23.1	12.0	8.5
	3～9点	278人	24.5	21.9	15.8	15.5	13.7	11.9

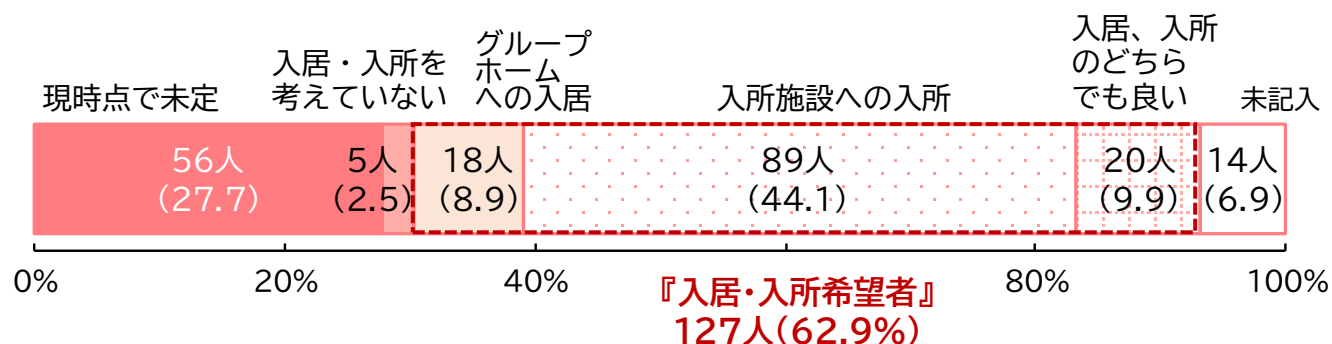
(%)

(5) 18歳以上の方の今後の生活場所

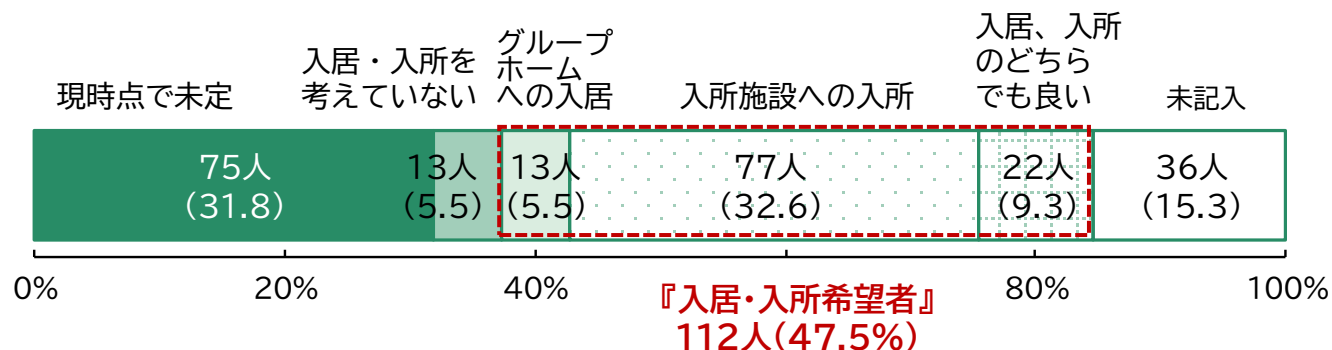
5-1.グループホームや入所施設への入居・入所希望の有無

○「グループホームへの入居」「入所施設への入所」「入居、入所のどちらでも良い」を合わせた『入居・入所希望者』は、重症心身障がい者で6割超、医療的ケア児者で約5割、希望は「入所施設への入所」が最も多い。

■重症心身障がい者（18歳以上回答数= 202人）



■医療的ケア者（18歳以上回答数= 236人）

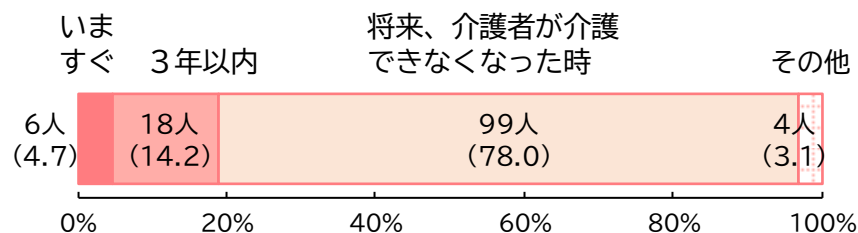


5-2.入居・入所の希望時期、理由

○重症心身障がい児者・医療的ケア児者とも『入居・入所希望者』の希望時期は、「将来、介護者が介護できなくなった時」が約8割と最も多く、希望理由は、「いずれ介護者が介護できなくなった時に備えて」が約7割と最も多い。

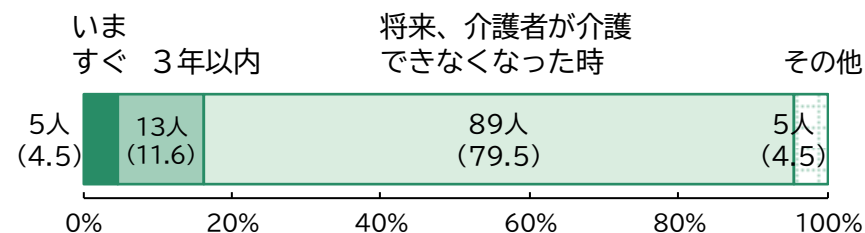
■重症心身障がい者（『入居・入所希望者』回答数= 127人）

<入居・入所の希望時期>

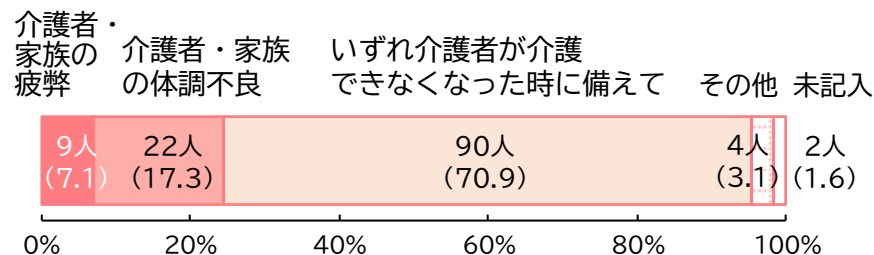


■医療的ケア者（『入居・入所希望者』回答数= 112人）

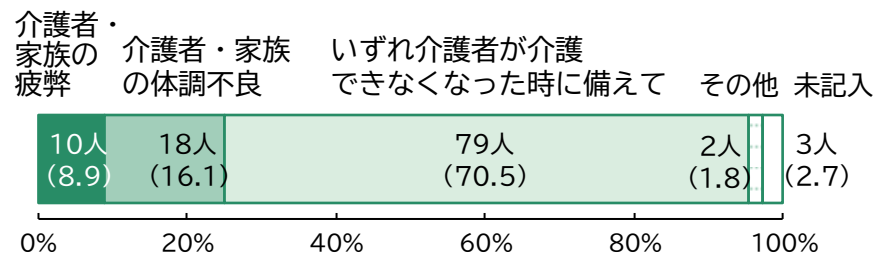
<入居・入所の希望時期>



<入居・入所の希望理由>



<入居・入所の希望理由>

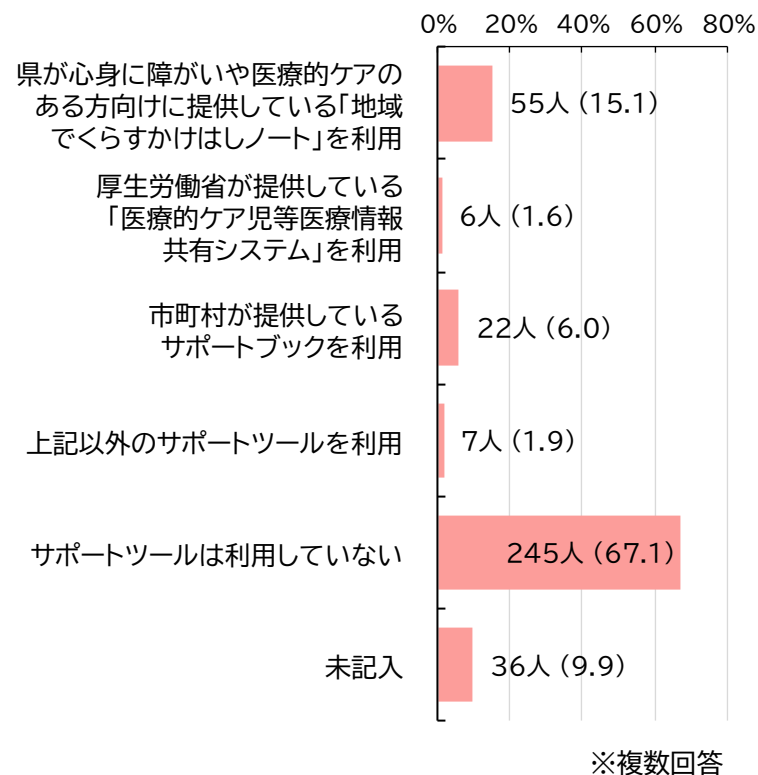


(6) サポートツールの活用

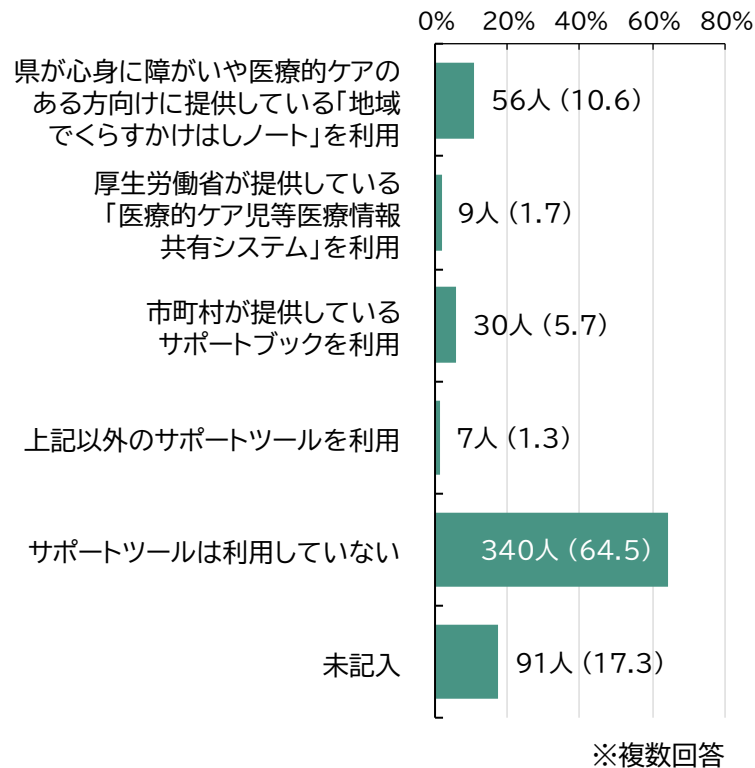
6-1. サポートツールの利用状況

○重症心身障がい児者・医療的ケア児者とも、「地域でくらすかけはしノート」を利用しているが約1割で、「サポートツールは利用していない」が7割近くとなっている。

■ 重症心身障がい児者（回答数= 365人）



■ 医療的ケア児者（回答数= 527人）

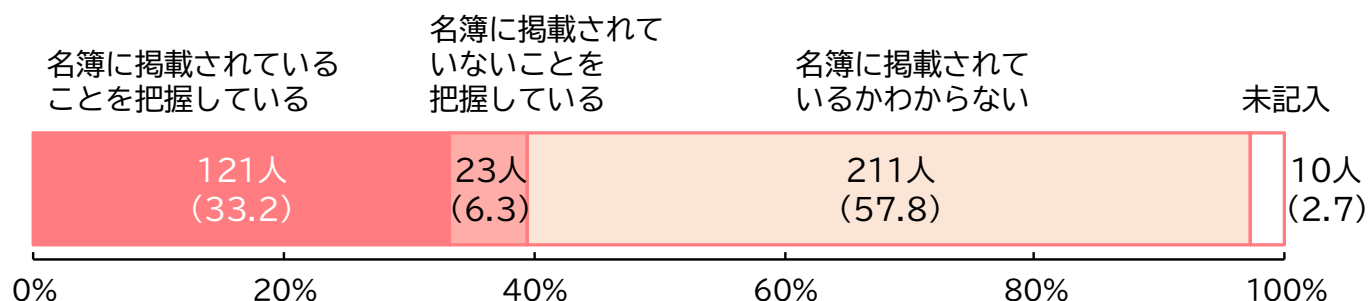


(7) 災害時への備え

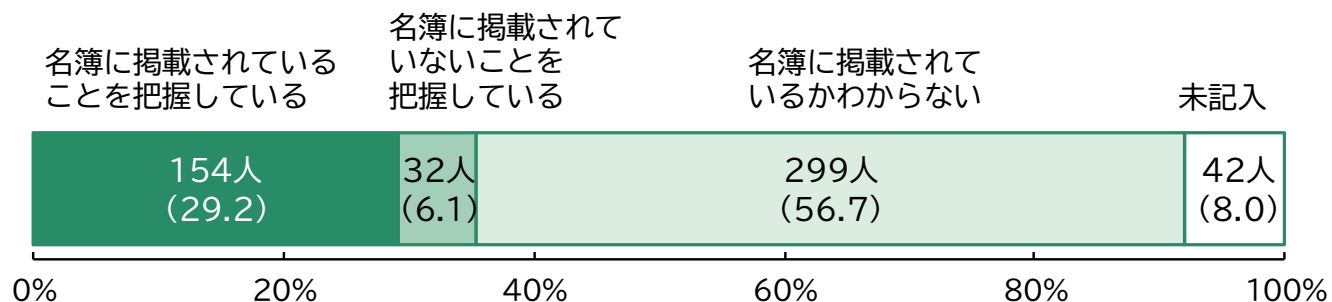
7-1.避難行動要支援者名簿の掲載状況

○重症心身障がい児者・医療的ケア児者とも、「名簿に掲載されていることを把握している」が約3割となっている一方、「名簿に掲載されているかわからない」が半数以上を占めている。

■ 重症心身障がい児者（回答数= 365人）



■ 医療的ケア児者（回答数= 527人）



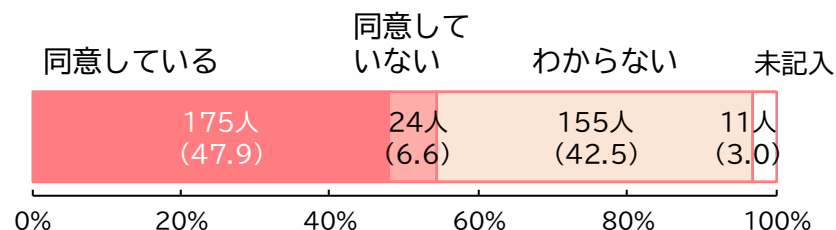
7-2.名簿提供の同意の有無、個別避難計画の有無

○避難行動要支援者名簿を平常時から避難支援等関係者に提供することに同意している方は、重症心身障がい児者で約半数、医療的ケア児者で約4割となっている。

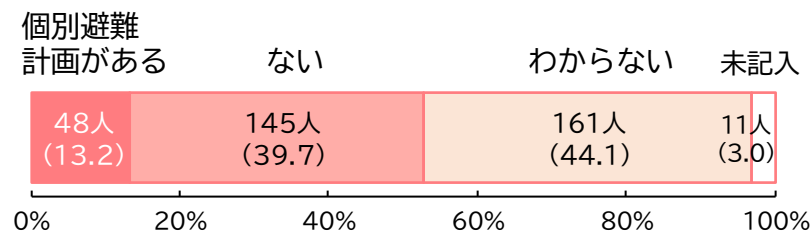
○個別避難計画がある方は重症心身障がい児者・医療的ケア児者とも約1割にとどまっている。

■重症心身障がい児者（回答数= 365人）

<名簿提供の同意の有無>

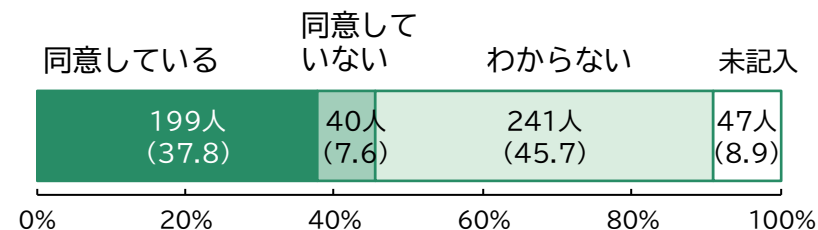


<個別避難計画の有無>

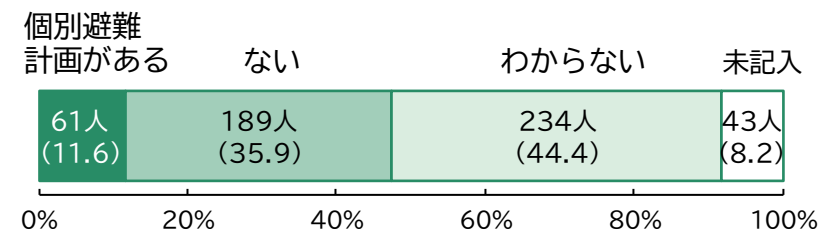


■医療的ケア児者（回答数= 527人）

<名簿提供の同意の有無>



<個別避難計画の有無>

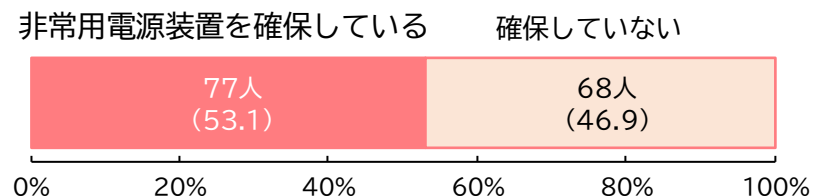


7-3.電源を必要とする医療機器を使用している方の災害時等非常用電源装置の確保の有無

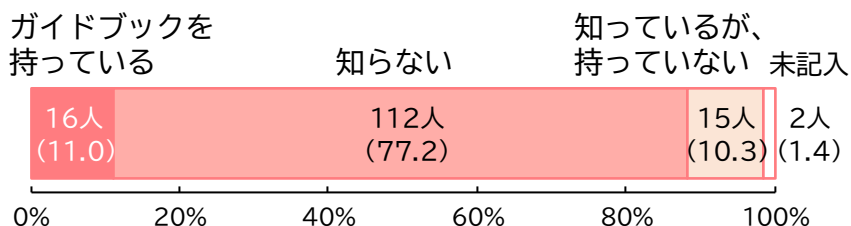
- 電源を必要とする医療機器を使用している方のうち、災害時等非常用電源装置を確保している方は、重症心身障がい児者・医療的ケア児者とも約半数となっている。
- 岐阜県医療的ケア児等災害時電源確保ガイドブックについては、重症心身障がい児者・医療的ケア児者とも「ガイドブックを知らない」方が約8割となっている。

■重症心身障がい児者（回答数= 145人）※

<災害時等非常用電源装置の確保の有無>

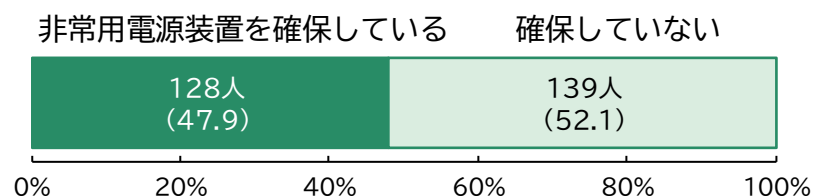


<ガイドブックの所持状況>

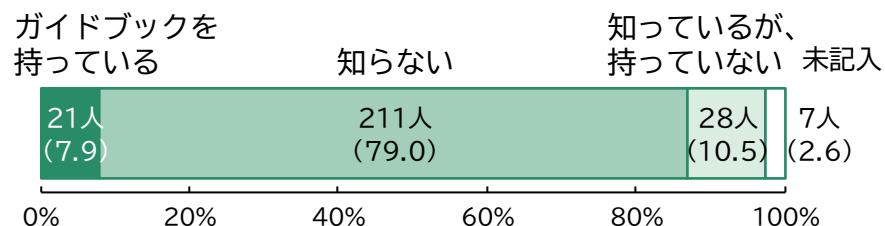


■医療的ケア児者（回答数= 267人）※

<災害時等非常用電源装置の確保の有無>



<ガイドブックの所持状況>



※電源を必要とする医療機器を使用している医療的ケア児者のうち、災害時等非常用電源装置の確保の有無に回答した方のみ